

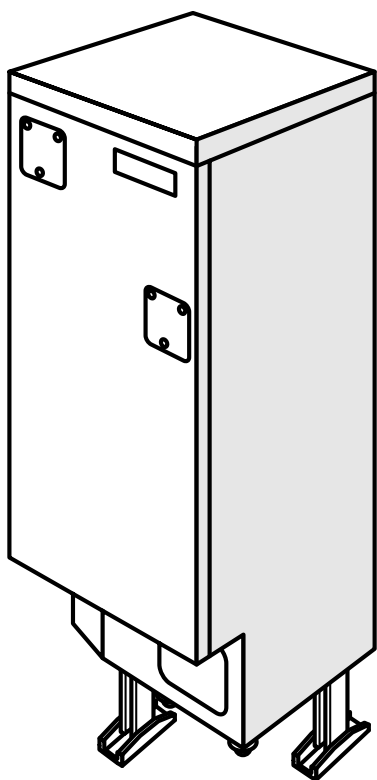
全自動 風呂給湯 電気温水器

取扱説明書

追焚きフルオートタイプ

時間帯別電灯/深夜電力(8時間)通電制御型 切替式

AUF-46M7UK
AUF-46M7UK-N
AUF-37M7UK
AUF-37M7UK-N



- *このたびはセキスイ電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
- *この商品を安全に正しくご使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解してください。
- *保証書は必ずお受け取りください。
- *お客様ご自身では据え付けしないでください。安全や機能の確保ができません。

この温水器は、申請によって通電制御型として電気料金の割引が適用されます。適用を受けるため、必ず、据付工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談の上、申請を行なってください。(買い換え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。)

「高圧力型とは」

- 「高圧力型」は「標準圧力型」より勢いよくお湯が出ます。(通常使用圧力: 80kPa→170kPa)
- 1階に据付けて2階でも使えるようになりました。(3階でも手洗い程度であれば使用できます。)

高圧力型電気温水器(小型温水ボイラー)に関する法令として以下のものがあります。

- 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)
- 労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)
- 労働安全衛生法施行令(昭和47年政令第318号)
- ボイラー及び圧力容器安全規則(昭和47年労働省令第33号)

- 「高圧力型」を事業者様が事務所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の基準があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問合せください。(49ページ)の「事業者様へのご案内」を必ずお読みください。

もくじ



項目	ページ	分類
1 はじめに		はじめに
安全上のご注意	1~5	
各部のなまえとはたらき	6~9	
2 準備		準備
はじめてご使用になるとき	10	
時刻合わせ	11	
運転モードの設定	12~13	
沸上げ温度の設定と湯温の表示	14	
表示消灯	15	
3 給湯の使い方		給湯の使い方
台所・シャワーなどの給湯温度の設定	16	
4 おふろの使い方		おふろの使い方
ふろ自動運転	17~20	
ふろ自動運転継続時間の設定	21	
ふろ予約	22~23	
浴槽の湯温をあげる(追いだき)	24	
浴槽の湯温をあげる(高温さし湯)	25	
浴槽の湯温をさげる(ふろぬるめ)	26	
浴槽のお湯をふやす(湯ったり)	27	
浴室と台所で通話する	28~29	
ふろ配管の洗浄(クリーニング)	30	
5 オプション設定		オプション設定
オプション設定	31~35	
6 このようなときは		このようなときは
湯切れしそうなき(強制沸増)	36	
冬期の凍結予防について	37	
数日間お湯を使用しないとき	38	
長期間お湯を使用しないとき	39~40	
非常用取水栓の使い方	41	
停電したときや断水・水道工事が行われるとき	42	
定期点検(有料)	43	
お手入れと日常点検	44~45	
故障かなと思ったとき	46~48	
事業者様へのご案内	49~51	
仕様	52	
アフターサービス	53	
時間帯別電灯契約/深夜電力契約の設定	54	

1 はじめに

安全上のご注意

○ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○表示の説明



表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

○図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

据付時・移設時・修理時のご注意

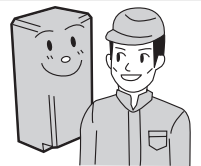
警告 (WARNING)



専用業者

●据え付けは販売店または工事店に依頼する。

ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



禁止

●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。

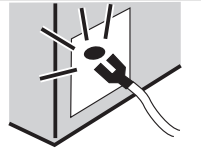
発火や火災になることがあります。



アース工事

●アース工事を確認する。

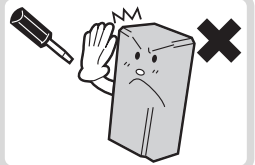
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。



禁止

●ご自分での修理・改造や再設置は行わない。

感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



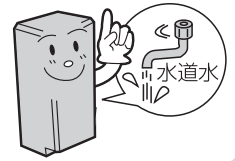
⚠️ 注意 (CAUTION)



上水道

● 水道水を使用する。（井戸水は使用不可）

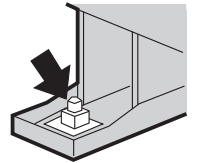
水質基準に適合しない水を使用すると、故障や水漏れの原因になります。



確認

● 電気温水器脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。

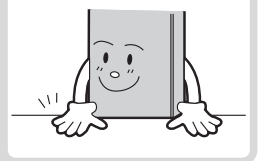
台風や地震のとき、電気温水器が倒れてけがをすることがあります。



確認

● 床面が防水・排水処理されているか確認する。

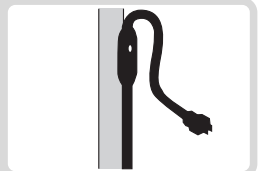
水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。



確認

● 配管の凍結防止対策を確認する。

凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



施工確認

● 電気温水器・台所リモコン（メインリモコン）が浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認する。

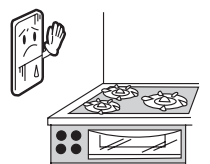
火災・感電の原因になります。



施工確認

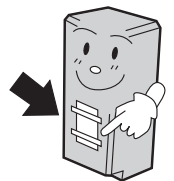
● リモコンは、直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取り付けられていないことを確認する。

変色、変形、火災の原因になります。



説明書添付

● お使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される際には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください。



使用時のご注意

警告(WARNING)



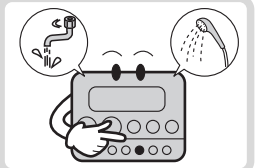
確認

- 入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。
- お湯を使う前には湯温を確認する。
やけどをすることがあります。

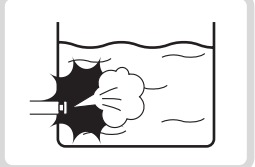


確認

- 給湯温度を変更するときは、他の給湯栓の使用状況を確認する。
やけどをすることがあります。

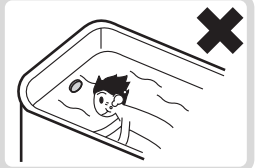


- 入浴するときは、浴槽循環口（アダプタ）から離れる。
やけどをすることがあります。



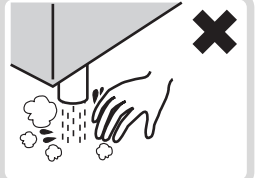
禁止

- 子供の入浴に注意する。
浴槽循環口（アダプタ）付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。



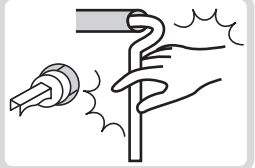
やけど注意

- 排水時および取水時にはお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。



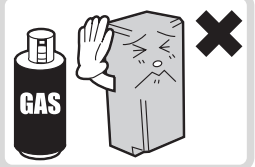
やけど注意

- 負圧弁付圧力逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。



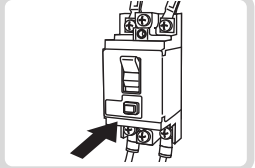
禁止

- 近くに可燃性ガスや引火物を置かない。
発火や火災になることがあります。



動作確認

- 漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。

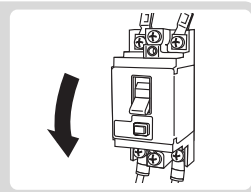


安全上のご注意



- 異常時は漏電ブレーカの電源レバーを下げて電源を切る。

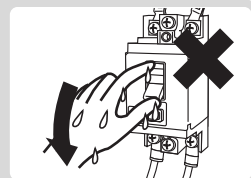
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



手をふれない

- ぬれた手で電源レバーを操作しない。
レバー以外には手を触れない。

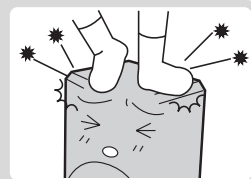
感電の恐れがあります。



禁止

- 電気温水器の上に乗ったり、配管に力を加えない。

機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。



手をふれない

- 給湯時は給湯栓本体に手を触れない。

やけどをすることがあります。

朝、最初に給湯栓を開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯栓は少しずつ開いてください。



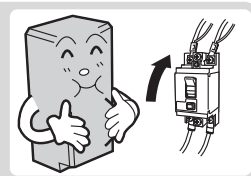
はじめて

⚠️ 注意 (CAUTION)



満水確認

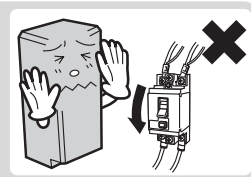
- 電気温水器を満水にしてから電源を入れる。



禁止

- 電源を「OFF」にしない。

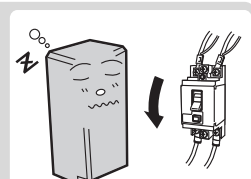
冬期は凍結して機器が破損することがありますので電源を「OFF」にしないでください。循環ポンプを自動的に運転してふる配管の凍結を予防しますので、入浴後は浴槽のお湯を排水せずに残しておいてください。



電源確認

- 1箇月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして電気温水器の排水をする。

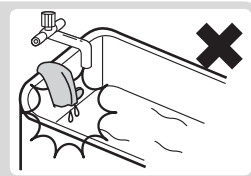
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。浴槽のお湯も排水してください。



禁止

- 浴槽循環口（アダプタ）はふさがない。

ふさぐと誤作動や故障の原因になります。



安全上のご注意



カバーは閉

●電気温水器の点検ふたは閉じる。

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



禁止

●硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない。

電気温水器や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。



点検

●負圧弁付圧力逃し弁の点検をする。

点検しないと電気温水器や配管が破損したり、負圧弁付圧力逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

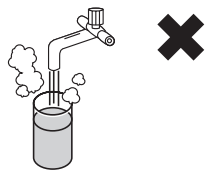


禁止

●飲用に用いない。

長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

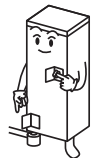
- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色・にごり・悪臭などがあつた場合は、直ちに点検の依頼を行ってください。



熱湯排水禁止

●電気温水器の熱湯は直接排水しない。

やけどをすることがあります。
水で薄めてから流してください。



漏水点検

●水漏れを点検する。

とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
日常点検をしてください。



異常時の注意

⚠警告(WARNING)



電源を切る

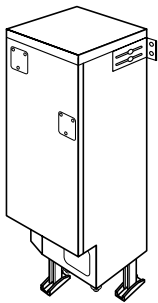
- 異常時（こげ臭い、缶体保護弁からの水漏れ等）は、漏電ブレーカのレバーをさげて電源を「OFF」にして、お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談センターへ連絡する。

異常のまま使用されますと故障や感電、火災の原因になります。



各部のなまえとはたらき

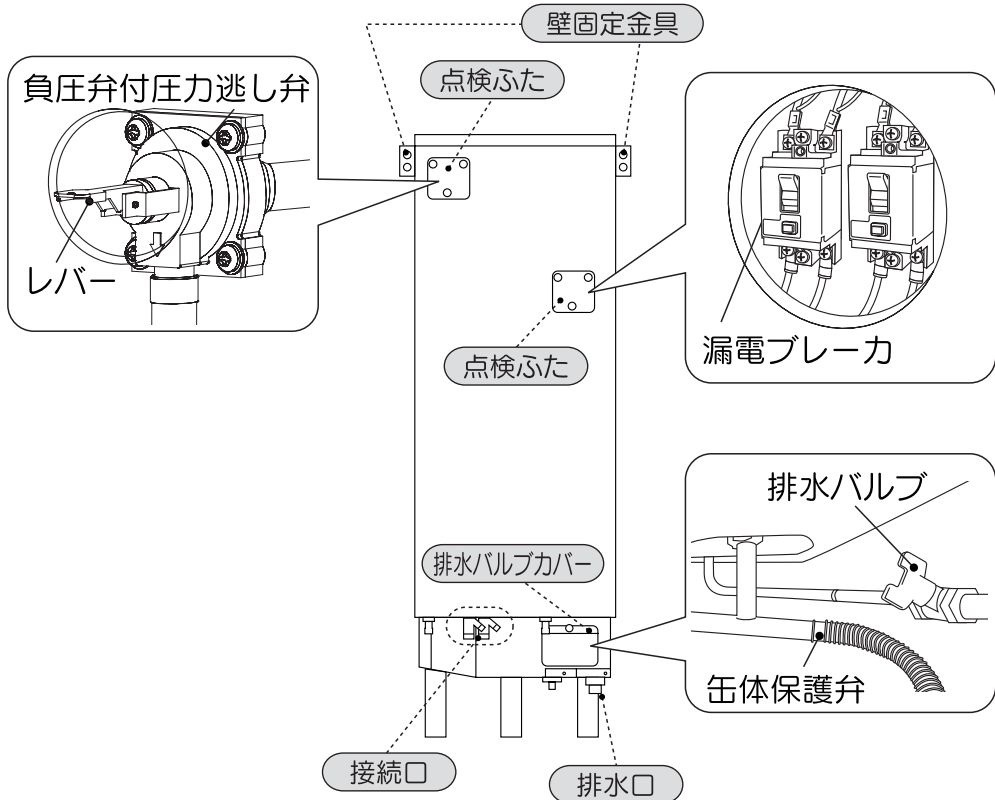
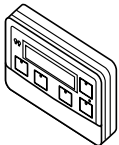
電気温水器



台所リモコン (メインリモコン)

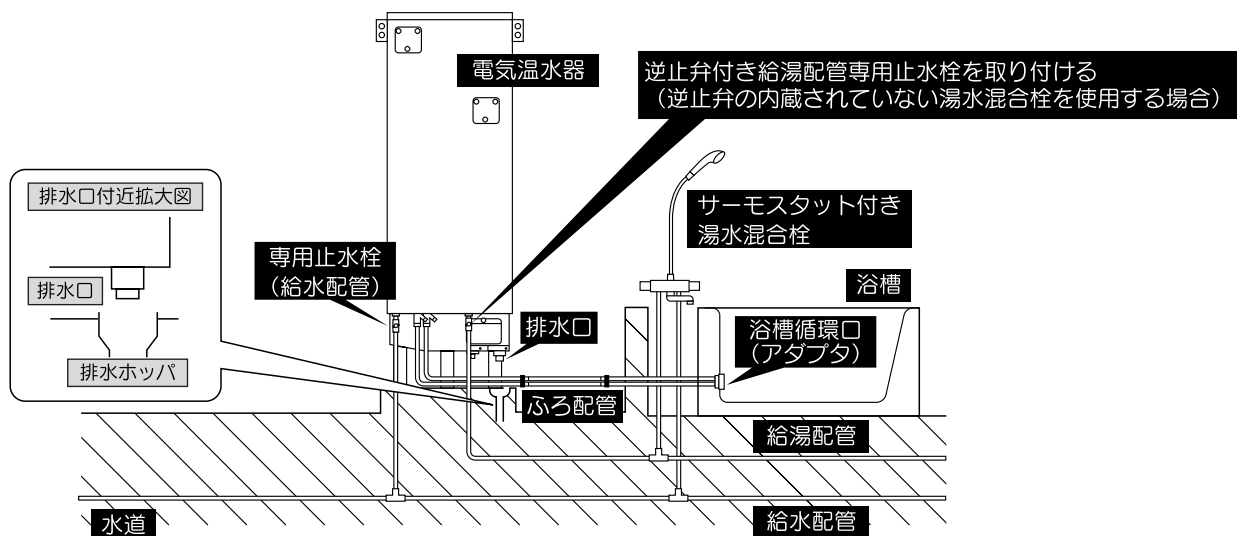


浴室リモコン



はじめに

システム全体の配管概要



お願い

- 水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。
- 水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない混合栓を使用した場合は、負圧弁付圧力逃し弁よりお湯が排水される場合がありますので、逆止弁付き給湯配管専用止水栓を取り付けてください。
- 浄化槽(雑排水)へ排水する場合は、必ずトラップ機能を設けた排水設備としてください。

お知らせ

- シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

各部のなまえとはたらき

電力契約について

この電気温水器に適用できる電力契約は、「時間帯別電灯」と「深夜電力」があります。

「時間帯別電灯」：夜間時間帯（23時～7時）（※1）に沸上げを行ないます。湯切れの心配があるとき、昼間時間帯（7時～23時）でも沸増することができます。（※2）

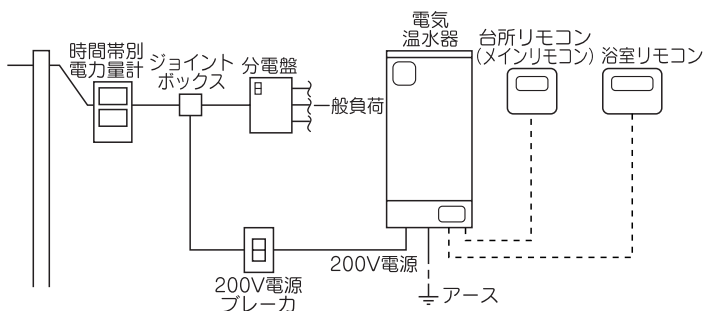
「深夜電力」：夜間時間帯（23時～7時）のみに沸上げを行ないます。昼間時間帯（7時～23時）での沸増はできません。

※1：電力会社によっては、契約内容により、夜間時間帯の開始時刻が異なる場合がありますので、お買い求めの販売店又は、工事店へお問い合わせください。

※2：昼間時間帯で沸増する場合は、電気料金が割高になります。

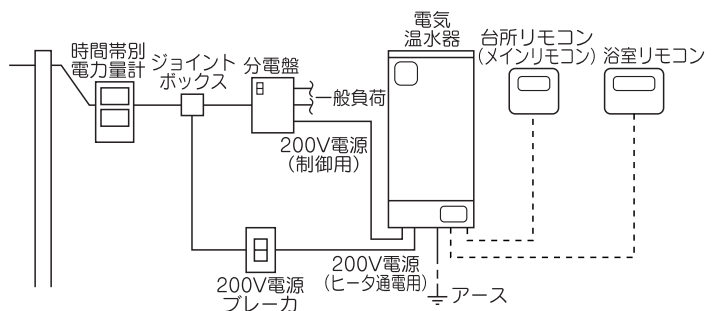
配線例（時間帯別電灯契約）

時間帯別電灯で使用する場合①
《制御用電源を同一回路で使用する場合》

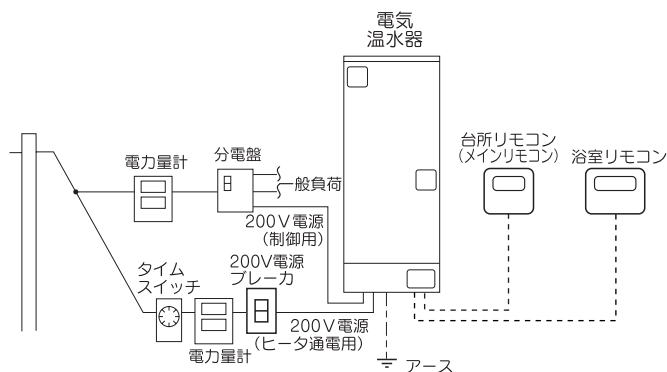


----- リモコン線
----- アース線

時間帯別電灯で使用する場合②
《制御用電源を別配線する場合》



配線例（深夜電力契約＜8時間＞）



----- リモコン線
----- アース線

台所リモコン (メインリモコン) <インターホンリモコン>

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

表示消灯ランプ

自動消灯モード→点灯
常時点灯モード→消灯
(→15ページ)

表示消灯スイッチ

表示の常時点灯/自動消灯の設定を行います。
(→15ページ)

ふろ自動スイッチ

設定された湯温・湯量で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。湯はり中はランプが点滅し、保温中はランプが点灯します。
(→18ページ)

スピーカー

運転モード切替スイッチ

運転モードを「おまかせ」、「満タン」、「深夜のみ」のいずれかに設定します。また3秒押しで沸上げ温度の設定を行います。
(→12、14ページ)

強制沸増スイッチ

運転モード、時間帯に関わらず150L【115L】までの沸上げを行います。また3秒押しで電気温水器上部の温度を表示します。
(→36ページ)

休止スイッチ

数日間お湯を使用しないとき、日数(0~15日間)を指定して沸上げを停止できます。
(→38ページ)

通話スイッチ

浴室リモコンとの間で通話できます。「話す」ときはランプが点滅し、「聞く」ときはランプが点灯します。
(→28ページ)

マイク

給湯温度設定スイッチ

水栓やシャワーなどの給湯温度を設定します。[35℃~50℃]1℃刻み/60℃ (→16ページ)

OS (オプション) スイッチ

音量、表示輝度などのオプション設定を行います。
(→31ページ)

ふろ予約スイッチ

ふろ自動運転の予約/解除やふろ予約時刻設定を行います。
(→22ページ)

時刻設定スイッチ

時刻を合わせるときに使用します。
(→11ページ)

【 】内は、370Lタイプ

予約表示
ふろ予約設定中に表示されます。

運転モード表示
現在の運転モードが表示されます。

強制沸増表示
強制沸増中に表示されます。

沸増し中表示
沸上げ動作中に表示されます。

浴室優先表示
浴室リモコンに給湯温度設定の優先権があるときに表示されます。

時刻・使用再開日表示
・ 現在時刻を表示します。
・ 休止設定時は使用再開までの日数が表示されます。

給湯表示 (高温表示)
・ 電源が入っているとき、「給湯」表示を点灯します。
・ 給湯温度設定60℃のときは、「高温」表示を3回点滅してから点灯します。

給湯温度表示
・ 給湯温度を表示します。

貯湯量表示
バー表示で貯湯量を表示します。
・ 約65L【50L】未満では残湯少表示が点灯します。
・ 約20L未満では残湯少表示が点滅します。

お願い

●台所リモコン (メインリモコン) に水をかけないでください。

防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

はじめに

浴室リモコン (インターホンリモコン)

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

追いだきスイッチ

追いだき運転をして設定された湯温 + 約1℃に沸上げます。また、3秒押しで高温さし湯を行ないます。
(→24ページ)

湯ったりスイッチ

ふろ保温中に、設定された湯温 + 約2℃のお湯を20Lたし湯し、その後浴槽の湯温を約1℃あげるように追いだきします。
(→27ページ)

ふろ自動スイッチ

設定された湯温・湯量を湯はりし、自動で保温とたし湯をします。湯はり中はランプが点滅し、保温中はランプが点灯します。
(→18ページ)

浴室優先スイッチ

給湯温度設定の優先権を切替えます。優先権のないリモコンでは給湯温度の設定はできません。
(→16ページ)

給湯温度設定スイッチ

水栓やシャワーなどの給湯温度を設定します。
[35℃～50℃ (1℃刻み) / 60℃]
優先権のない場合は給湯温度の設定はできません。
(→16ページ)

保温時間設定スイッチ

ふろ自動運転の継続時間を設定します。(0～6時間)
(→21ページ)

クリーニングスイッチ

ふろ配管に水を流し、配管を洗浄します。
(→30ページ)

ふろぬるめスイッチ

水を10L注水します。
(→26ページ)

マイク

通話スイッチ

台所リモコン (メインリモコン) との間で通話ができます。「話す」ときはランプが点滅し、「聞く」ときはランプが点灯します。
(→28ページ)

ふろ温度設定スイッチ

浴槽の湯温を設定します。
[35℃～48℃ (1℃刻み)]
(→17ページ)

ふろ湯量設定スイッチ

浴槽の湯はり量を設定します。
(→17ページ)

スピーカー

浴室優先表示

浴室リモコンに給湯温度設定の優先権があるときに表示されます。

時刻表示

現在時刻を表示します。

湯はり量表示 (通話音量表示)

・設定された湯はり量を表示します。
・通話時、聞くときの音量を表示します。
(→29ページ)

熱湯注意表示

給湯温度設定が60℃のとき表示されます。

残り湯少表示

・約65L【50L】未満で点灯します。
・約20L未満で点滅します。

給湯温度表示

給湯温度を表示します。

高温表示

湯ったり、高温さし湯、追いだき運転中に表示されます。

矢印表示

ふろ自動、高温さし湯、湯ったり、追いだき、ふろぬるめ、クリーニング運転中に表示されます。

保温中表示

ふろ自動運転の保温中に表示されます。貯湯量が不足するときは点滅します。

予約表示

ふろ予約設定中に表示されます。

ふろ温度・保温時間表示

ふろ温度を表示します。保温時間設定スイッチを押したときは、ふろ保温時間を表示します。

【 】内は、370Lタイプ

お願い

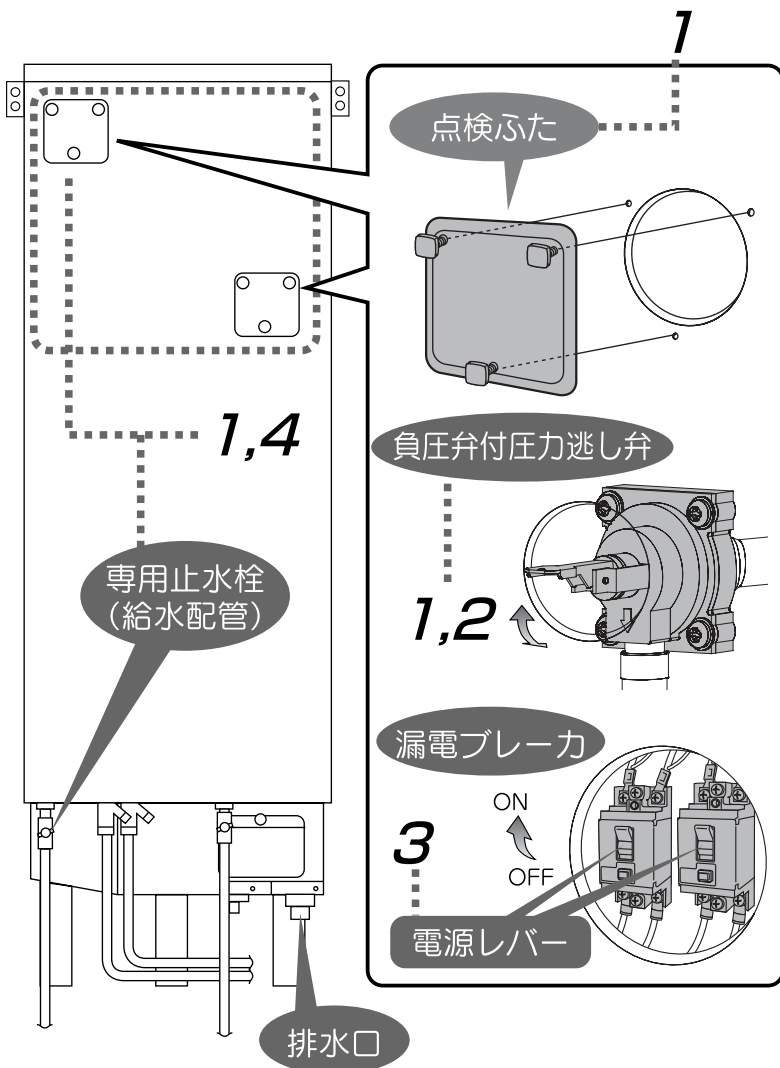
●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

故障の原因になります。

2 準備

はじめてご使用になるとき

○電気温水器を満水にし、電源を入れます。



〈参考図〉

給湯配管の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1箇所）

操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。



（空気が抜けたら蛇口を閉じてください。）

1. 電気温水器の点検ふた2箇所をはずし、負圧弁付圧力逃し弁のレバーを上げ、専用止水栓（給水配管）を開きます。

●電気温水器に水を入れます。

2. 電気温水器が満水になったら、負圧弁付圧力逃し弁のレバーを戻します。

- 排水口から水が出てきたら満水です。
- 満水までの目安は約30分です。
- 給湯配管内の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開きます（1箇所）。空気が抜けたら、蛇口を閉じてください。（参考図参照）

3. 200V電源ブレーカを「入」にし、電気温水器の点検ふたをはずし、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。

⚠警告

- ぬれた手で電源レバーを操作しない。レバー以外には手を触れない。感電の恐れがあります。

⚠注意

- 電気温水器を満水してから電源を入れます。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

4. 電気温水器の点検ふたを元どおり取り付けます。

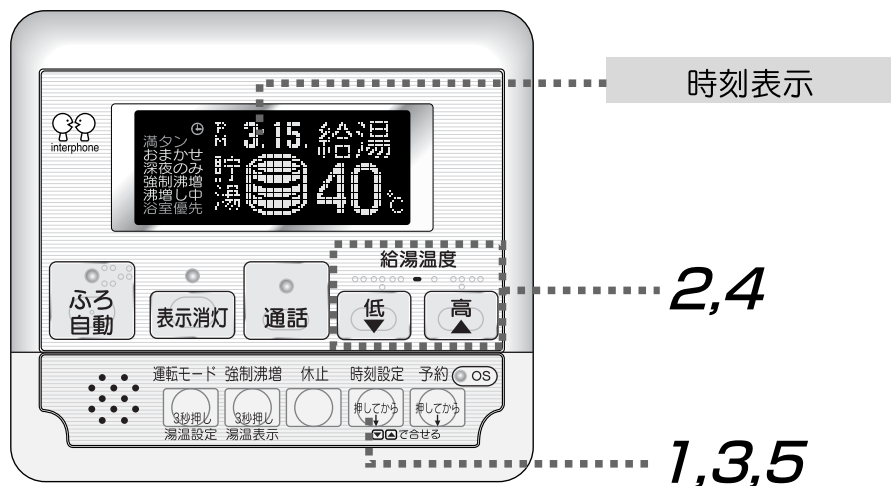
準備

時刻合わせ

○現在時刻の設定をします。

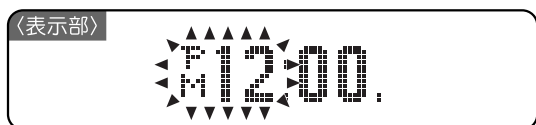
○「時間帯別電灯」でご契約のお客様は設定時刻がずれていたり、午前（AM）と午後（PM）を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。停電などで時刻が「-：-」バー表示のままでは、自動沸上げができません。

台所リモコン (メインリモコン)



時刻設定
1. を押します。

- 「時」が点滅します。



お知らせ

●時刻の設定中（表示点滅中）に10秒以上スイッチが押されないとその時の表示時間で設定されます。

給湯温度
2. を押し「時」を合わせます。

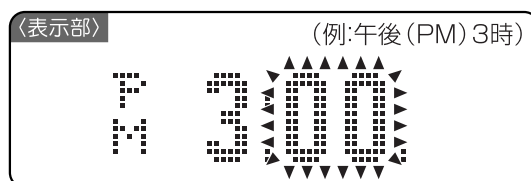
- を押しと1時間ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- を押しと1時間ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

お知らせ

●時刻は12時間表示です。
昼の12時は「PM12：00」を、
夜の12時は「AM12：00」を表示します。

時刻設定
3. を押します。

- 「時」が設定され、「分」が点滅します。

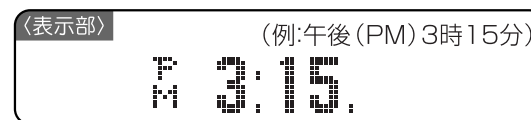


給湯温度
4. を押し「分」を合わせます。

- を押しと1分ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- を押しと1分ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

時刻設定
5. を押します。

- 時刻が確定し通常の表示に変わり、時刻設定が完了します。
浴室リモコンにも設定した時刻が自動的に表示されます。



お願い

- 約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、表示部は「-：-」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。
- 時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認を行い時刻の修正をしてください。

運転モードの設定

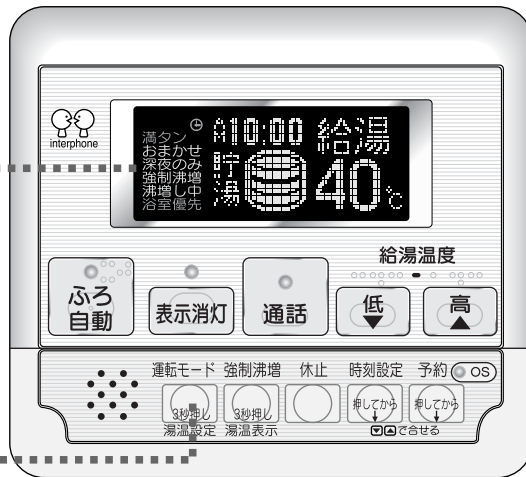
○ご使用湯量に合わせて、運転モードを設定することができます。

○通常は「深夜のみ」モードとなっています。

(運転モードの設定は「時間帯別電灯」でご契約のお客様がご利用できる機能です。「深夜電力」でご契約のお客様には、「おまかせ」モードと「満タン」モードはご利用できません。)

台所リモコン
(メインリモコン)

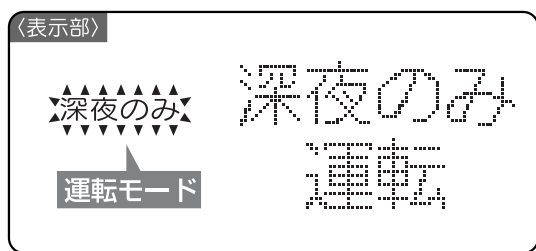
運転モード表示
お買い上げ時の設定
深夜のみ





1,2

1.  を押します。

●現在設定されている運転モードが点滅します。



2.  を押し、運転モードを切り替えます。

● を押すごとに運転モードが切り替わり、表示が点滅します。

おまかせ → 深夜のみ → 満タン

運転モード	沸上げ方法 (使用場面)
おまかせ	お湯の使用量が多いときは、昼間時間帯に沸増を行います。
深夜のみ	深夜時間帯のみ、沸上げを行います。
満タン	貯湯量が約400L【330L】以下になると、満タンになるまで沸上げを行います。 (多量のお湯を連続して使用されるとき)

【 】内は、370Lタイプ

3. そのまま5秒経過すると設定完了です。

●点滅している運転モードで設定され、通常の表示に戻ります。

ご参考

●運転モードの違いは次のようになっています。

運転モード	深夜以外の沸上げについて
おまかせ	湯切れを起こしにくくするために、自動的に次の沸上げを行います。 ・ふろを一度沸上げるまでは満タンになるまで沸上げて湯量を確認し、その後は貯湯量が65L【50L】未満になると150L【115L】まで沸上げます。 (毎日、継続して沸上げます。) ・この場合、昼間の電力で沸上げを行なうので、電気料金が割高になります。 (急な来客などで湯切れの心配があるときは、強制沸増を使用してください。)
深夜のみ	・深夜以外で自動的な沸上げは行いません。 (急な来客などで湯切れの心配があるときは、強制沸増を使用してください。)
満タン	・電気温水器内のお湯が約400L【330L】を下回ると、満タンまで沸上げを行います。 ・設定されたその日の23時頃になると、自動的に満タンモードを解除し、設定前の運転モードに戻ります。 ・この場合、昼間の電力で沸上げを行うので電気料金が割高になります。
強制沸増	・150L【115L】まで沸上げたら、沸増は終了します。

【 】内は、370Lタイプ

準備

運転モードの設定

お知らせ

貯湯量表示について

○台所リモコン（メインリモコン）の貯湯量表示は次のようになっています。
（貯湯量とは約50℃以上のお湯の量です。）

【 】内は、370Lタイプ

バー表示	点滅	点灯	バー1本	バー2本	バー3本
貯湯量 (目安)	約20L未満 (ピピピピ) ※	約20L以上 約65L【50L】 未満 ※(ピピピピ)	約65L 【50L】以上 約150L 【115L】未満	約150L 【115L】以上 約200L未満	約200L以上

※残湯量が少なくなると、リモコンのブザー音でもお知らせします。

(参考) 浴室リモコンの表示

	点 滅	点 灯	消 灯	消 灯	消 灯
--	-----	-----	-----	-----	-----

お願い

●貯湯量が少ないと下図のような機能の制限があります。

各機能の操作を行う前に台所リモコン（メインリモコン）の を押すなどして、貯湯量を確保してください。

貯湯量表示	ふろ自動	湯ったり	追いだき	高温さし湯
点滅	受け付け ません	受け付け ません	受け付け ません	受け付け ません
点灯		受け付け ます (※2)		受け付け ます
バー1本	受け付け ます (※1)	受け付け ます	受け付け ます (※3)	受け付け ます

※1 バー表示が1つ以上点灯していても、運転に必要な貯湯量がない場合、受け付けられないことがあります。

※2 たし湯動作のみ行い、湯ったり沸上げは行いません。

※3 浴槽内の残り湯温が低い場合「CO5」を表示して追いだきを停止することがあります。

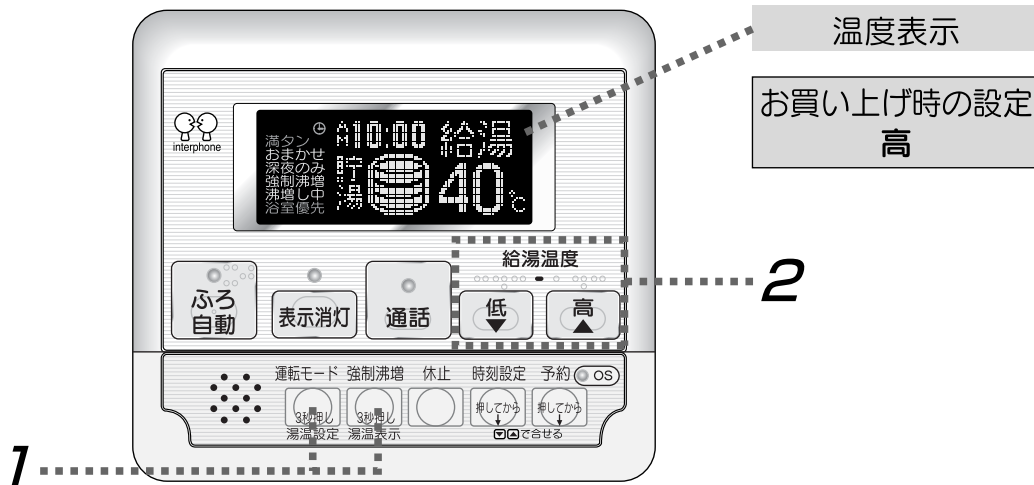
湯切れを防止するためのお願い

- 湯はりなどで大量にお湯を使用されるときは、使用される前に貯湯量の確認を行ってください。貯湯量が不足しそうなときは、事前に「強制沸増」を利用してください。（→36ページ）
- 安価な深夜電力でお湯を貯めて、上手に使っていただく給湯機です。使いすぎに注意してください。

沸上げ温度の設定と湯温の表示

- ご使用湯量に合わせて、沸上げ温度の設定ができます。
- 電気温水器内に残っているお湯の温度を確認できます。

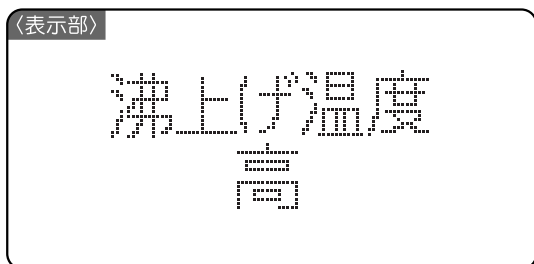
台所リモコン
(メインリモコン)



湯温の設定

1. を3秒以上押します。

- 設定表示に切り替わります。



2. を押し、沸上げ温度を選択します。

- 設定が切り替わり点滅します。



設定	沸上げ温度 (目安)
「自動」	約75℃～約90℃ 給水温度に応じて沸上げる温度を自動調整します。
「低」	約75℃に固定します。
「高」	約90℃に固定します。

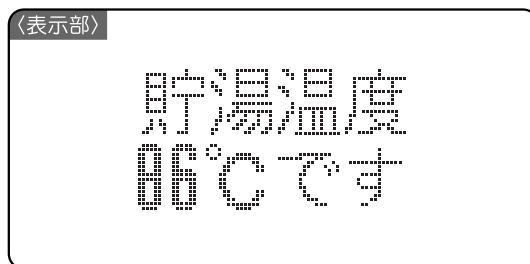
そのまま10秒経過すると設定完了です。

- そのときの表示で設定され、通常の表示に戻ります。

湯温の表示

1. を3秒以上押します。

- 湯温表示に切り替わります。

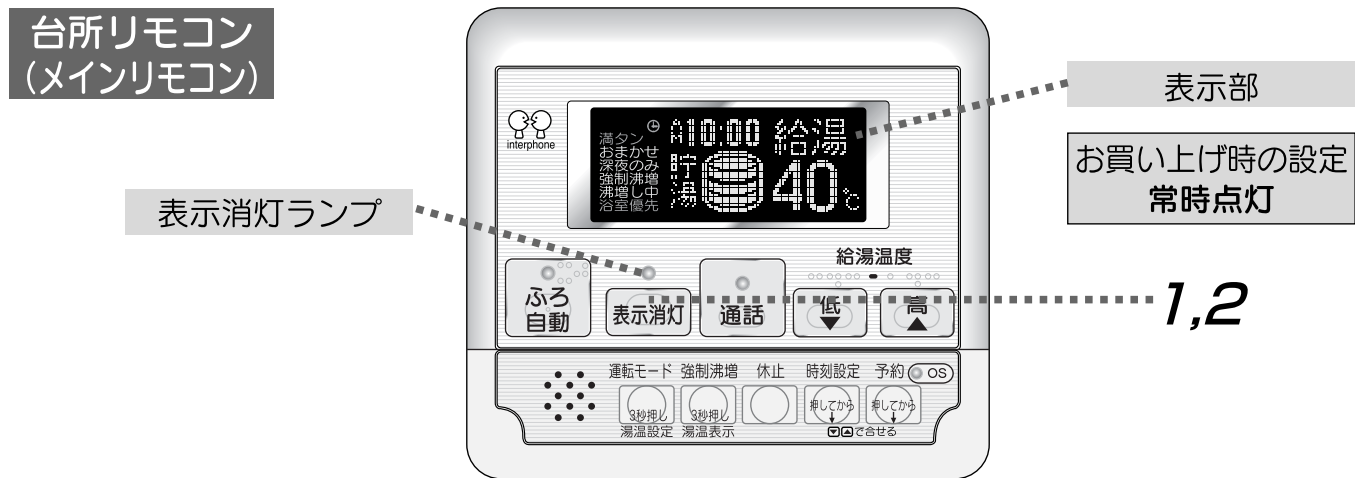


- 貯湯温度はタンク上部位置 (20L) の温度です。
- そのまま30秒経過すると通常の表示に戻ります。

準備

表示消灯

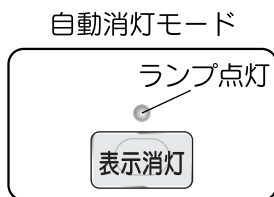
○台所リモコン（メインリモコン）と浴室リモコンを、自動で消灯する自動消灯モードと常に表示する常時点灯モードを切りかえることができます。



1. 自動消灯モードに設定する場合は

表示消灯 を押します。

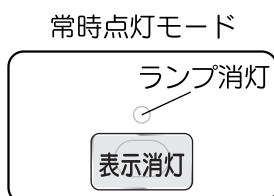
- リモコンの表示が消灯し、表示消灯ランプが点灯します。（自動消灯モード）
- 浴室リモコンの表示も台所リモコンと同様に消灯します。



2. 常時点灯モードに設定する場合は

表示消灯 を押します。

- 表示が点灯し、表示消灯ランプが消灯します。（常時点灯モード）



お知らせ

- 「残り湯少」表示が点灯または点滅したら、自動消灯モードでも表示は消えません。貯湯量が確保されれば消灯します。
- 台所リモコン（メインリモコン）または浴室リモコンのどれかのスイッチを押すか、給湯を使用すると表示が点灯します。
- 30分以上スイッチ操作や給湯を使用しないと表示は自動的に消灯します。
- 給湯中および、ふろ動作中（ふろ自動、追いだし、高温さし湯、ふろぬるめ、湯ったり、クリーニング）と通話中は、自動消灯モードでも表示されます。
- 「沸増し中」は自動消灯モードでも表示されます。

3 給湯の使い方

台所・シャワーなどの給湯温度の設定

- 台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度を、まとめてお好みの温度に設定します。
- 台所リモコン（メインリモコン）・浴室リモコンのどちらからでも設定を行うことができます。

浴室リモコン

熱湯注意表示

浴室優先スイッチ

2

浴室優先表示

給湯温度表示

給湯・高温表示

給湯温度表示

台所リモコン（メインリモコン）

浴室優先表示

2

お買い上げ時の設定
42℃、優先権は台所リモコン（メインリモコン）

設定できる範囲
35℃～50℃（1℃刻み）／60℃

警告

- 給湯温度を変更するときは、他の給湯栓の使用状況を確認する。
やけどをすることがあります。
- お湯を使う前には湯温を確認する。
やけどをすることがあります。

お知らせ

- 給湯温度を60℃に設定すると、浴室リモコンには警告音とともに「熱湯注意」が表示され、台所リモコン（メインリモコン）には「高温」が表示されます。
- 給湯温度が変更されると音声で案内されます。（台所リモコン（メインリモコン）のみ）
- 優先権のないリモコンで操作した場合は、操作は受け付けません。
- サーモスタット付き湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を、使用される温度より約10℃高く設定されることをおすすめします。

1. 優先権のあるリモコンを確認します。

優先リモコン	浴室リモコン表示		台所リモコン表示（メインリモコン）
浴室リモコン	〈点灯〉 浴室優先	〈点灯〉 浴室優先	〈点灯〉 浴室優先
台所リモコン（メインリモコン）	〈消灯〉 浴室優先	〈消灯〉 浴室優先	〈消灯〉 浴室優先

お知らせ

- リモコンの優先権を変更するときは、浴室リモコンの **浴室優先** を押ししてください。

2. **給湯温度** を押し、温度を設定します。

● **▲** を押しと給湯温度が高くなります。

● **▼** を押しと給湯温度が低くなります。

3. 給湯栓を開けば、お湯が出ます。

お知らせ

- 給湯温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの設定は目安としてお使いください。
- 給湯開始後しばらくの間は、配管内の冷めた水がでます。
- 給湯を停止し、再出湯したときに一時的に温度がさがることがあります。（これはやけど防止優先、制御のためで異常ではありません。）

給湯の
使い方

4 おふろの使い方

ふろ自動運転

湯はり量とふろ温度を設定します

○浴室リモコンでふろ自動運転時の浴槽の湯はり量とふろ温度の設定をします。

浴室リモコン

湯はり量表示

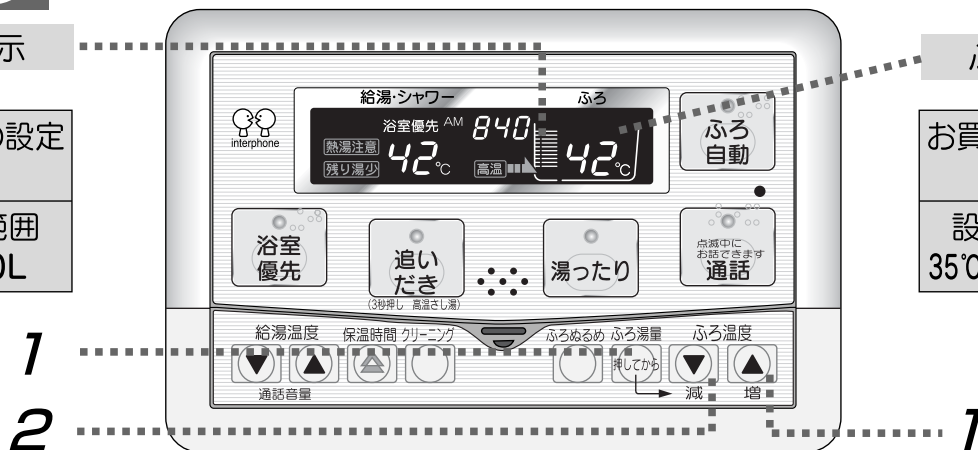
お買い上げ時の設定
180L

設定できる範囲
100L~400L

ふろ温度表示

お買い上げ時の設定
42℃


設定できる範囲
35℃~48℃ (1℃刻み)





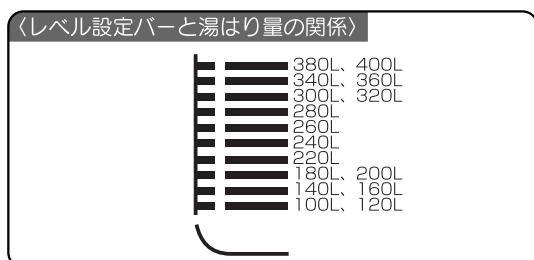
1.  を押します。


- 湯量表示バーと湯はり量が点滅します。
- ふろ温度表示 (℃) が消え、湯はり量が表示されます。
- 湯はり量は上2桁で表示されます。例えば「18」は180Lを示します。





2.  を押し、湯はり量を設定します。

-  を押し、20Lずつ増加します。
-  を押し、20Lずつ減少します。



1.  を押し、ふろ温度を設定します。

-  を押し、1℃ずつ高くなります。
-  を押し、1℃ずつ低くなります。

お知らせ

- 浴槽内のお湯の温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの表示は目安としてお使いください。

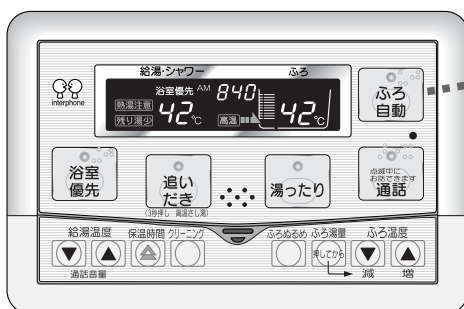
お知らせ

- スイッチが5秒以上押されない場合は、その時の湯はり量で設定されます。
- ふろ自動運転中に湯はり量の変更はできません。

おふろの沸かしかた

- スイッチを押すだけで、浴室リモコンで設定されている湯温・湯量で沸上げができます。（台所リモコン（メインリモコン）・浴室リモコンのどちらからでも行うことができます。操作は浴室リモコンで説明します。）
- 設定されている湯温・湯量で沸上げを終えると、ブザー（浴室リモコン）と音声（台所リモコン（メインリモコン））でお知らせすると共に、自動的に保温とたし湯をする自動運転を行います。
- 前日の残り湯は、沸上げしないでください。

浴室リモコン



2,3

湯はり時間の目安
15~20分
(1階の浴室、湯はり量180Lのとき)

1. 浴槽を確認します。



- 浴槽の排水栓を閉じます。
- 浴槽にふたをします。


2. を押します。

- 音声でお知らせすると共にランプが点滅して自動湯はりを開始します。






お知らせ

- 設置後2回目までのふろ自動運転は浴槽サイズを学習する運転を兼ねていますので、必ず浴槽に残り湯がない状態で  を押してください。そのため湯はり時間が若干長くなります。このとき湯はりを途中で止めないでください。
- 沸上げてブザーと音声でお知らせするまでは、浴槽にカラン・シャワー等から湯をたしたり、入浴したりしないでください。正常に湯はりできなくなります。
- 「残り湯少」表示が点灯または点滅したら、ふろ自動運転を停止し、ふろ自動運転は受け付けません。台所リモコン（メインリモコン）の  を押すなどして、貯湯量を確保してから、ふろ自動運転をご使用ください。（→13、36ページ）

- 「CO3」、「CO5」を表示してふろ自動運転が停止したときは、貯湯量が不足しています。表示を解除するときは  を押します。（→46ページ）台所リモコン（メインリモコン）の強制沸増を押して貯湯量を確保してから再度ふろ自動を押すか、高温さし湯してください。

3. ふろ自動運転を途中でやめるときはもう一度 を押します。

お知らせ

- 湯はりに中に台所やシャワーなどでお湯を使用されますと、湯はり時間が長くなることがあります。
- ふろ自動運転は台所リモコン（メインリモコン）でも操作することができます。自動湯はり中に、どちらのリモコンからでも  を押すと湯はりを中止します。
- 沸上げてブザーと音声でお知らせした後は、設定された保温時間が経過するとふろ自動運転は解除されます。（ふろ自動運転を続けたいときは、もう一度  を押してください。）
- 湯はり動作中に、循環ポンプが運転しますが異常ではありません。
- ふろ自動運転中に排水したときは、お知らせ表示「CO1」が表示されます。排水栓を閉じたのち、再度  を押してください。
- 湯はり完了後の自動保温中に「残り湯少」表示が点灯または点滅した時、ふろ自動運転を解除すると、再度ふろ自動運転を受け付けることができません。
- 給湯と湯はりを同時に行ったときは、給湯量が減少することがあります。

ふろ自動運転中の動作と表示

○ふろ自動運転中の浴槽の状態とリモコンの表示は次のようになっています。

	湯はり中	沸上げ完了	自動保温	自動たし湯
浴槽				
表示	(ランプ点滅) 保温中 (消灯)	(ランプ点灯) 保温中 (点灯)	(ランプ点灯) 保温中 (点灯)	(ランプ点灯) 保温中 (点灯)

警告

●入浴するときは浴槽循環口（アダプタ）から離れる。

やけどをするおそれがあります。

湯はり中または追いだきをするときや自動保温中に熱いお湯がでることがあります。

お知らせ

- 湯はりの途中で、配管内の泡が浴槽循環口（アダプタ）からポコポコと出ることがありますが異常ではありません。

お願い

- 設置後2回目までのふろ自動運転は浴槽の残り湯を排水してから、湯はりをしてください。
- 沸上げてブザーと音声でお知らせするまでは、給湯栓やシャワーなどから浴槽へお湯または水を足したり、お湯をくみ出したりまたは排水したりしないでください。正常に湯はりできないことがあります。
- 沸上げてブザーと音声でお知らせするまでは、入浴しないでください。正常に湯はりできないことがあります。
- 沸上げてブザーと音声でお知らせするまでは浴槽循環口（アダプタ）より熱い湯が出ますので、入浴しないでください。やけどをすることがあります。
- 浴槽の栓抜け等による自動たし湯の継続を防止するため、自動保温中の自動たし湯の総量が設定した浴槽の湯はり量を超えると、自動たし湯を停止します。（自動たし湯を継続したいときは、




を押してふろ自動運転を停止し、もう一度




を押してください。）

排水のしかた

1. ふろ自動運転の停止を確認します。

- のランプが点灯しているときは、

を押し、自動運転を停止します。

お知らせ

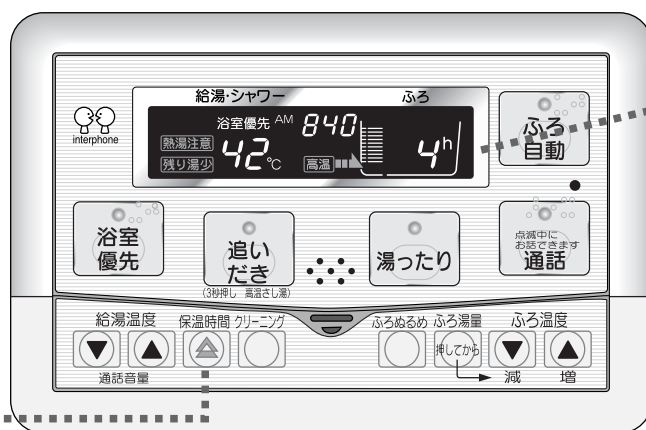
- ふろ自動運転を停止しないで排水したときは、お知らせ表示「CO1」を表示します。
(→46ページ)

2. 浴槽の排水栓を抜き、排水します。

ふろ自動運転継続時間の設定

- ふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）の継続時間を設定することができます。
- ご家族の人数および入浴状況に合わせて継続時間を設定します。

浴室リモコン



保温時間表示

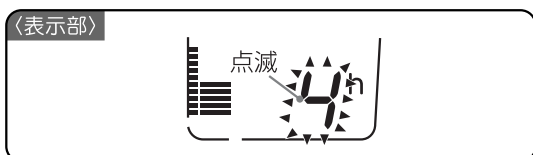
お買い上げ時の設定
4時間（表示：4）

設定できる時間
0時間～6時間（1時間刻み）


1,2

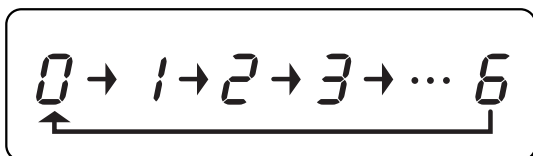
1. を押します。

- ふろ温度表示から現在の保温時間表示に変わり、時間が点滅し変更可能になります。




2. を押し、継続時間を設定します。

-  を押すごとに表示が切り替わります。



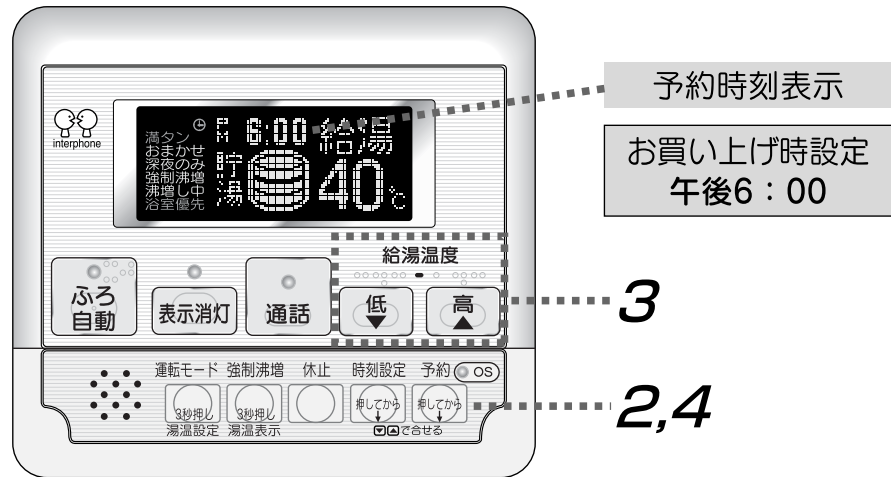
お知らせ

-  が5秒以上押されない場合、その時の表示時間で設定され、ふろ温度表示に戻ります。
- 継続時間を0時間に設定されると、湯はり完了後の自動運転（自動保温・自動たし湯）は行われません。

ふろ予約

- ふろ予約を設定すると、予約した時刻の30分前にふろ自動運転を開始します。
- 予約設定時刻は記憶されますので、同じ時刻に予約するときには時刻を再設定する必要はありません。


台所リモコン (メインリモコン)

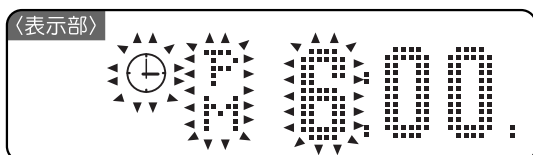


1. 浴槽を確認します。

- 残り湯を排水して浴槽の排水栓を閉じます。
- 浴槽にふたをします。

2. を押します。



-  および「時」が点滅し、予約モードに入ります。



お願い

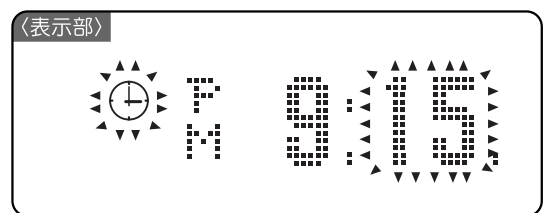
- ふろ予約の設定は、入浴時刻（湯はり完了時刻）の30分以上前に行ってください。30分以内に予約した場合は、次の日の予約した時刻にふろが沸立ちます。

3. を押し「時」を合わせます。

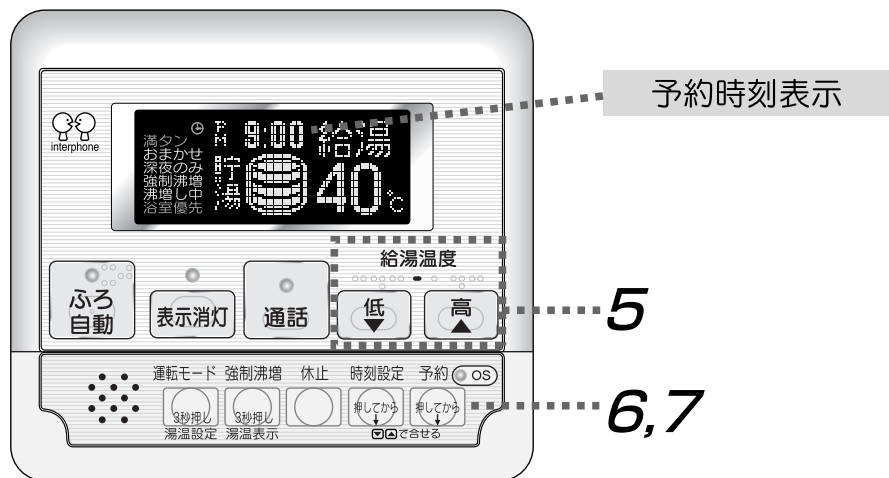
-  を押し1時間ずつ、進みます。（押し続けると連続して進みます。）
-  を押し1時間ずつ、戻ります。（押し続けると連続して戻ります。）

4. を押します。

- 時間が設定され、「分」が点滅します。



台所リモコン (メインリモコン)

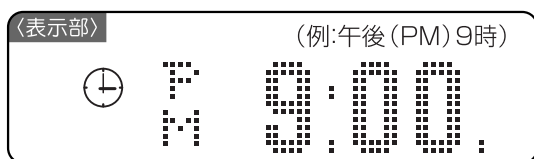


5. ^{給湯温度} **低** **高** を押し、「分」を合わせます。

- **高** を押すと1分ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- **低** を押すと1分ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

6. ^{予約} **押ししてから** を押しと、予約完了です。

- **+** が点灯となり、現在時刻表示に変わります。
- 浴室リモコンにも予約の文字を表示します。



7. ふろ予約をやめるときはもう一度 ^{予約} **押ししてから** を押します。

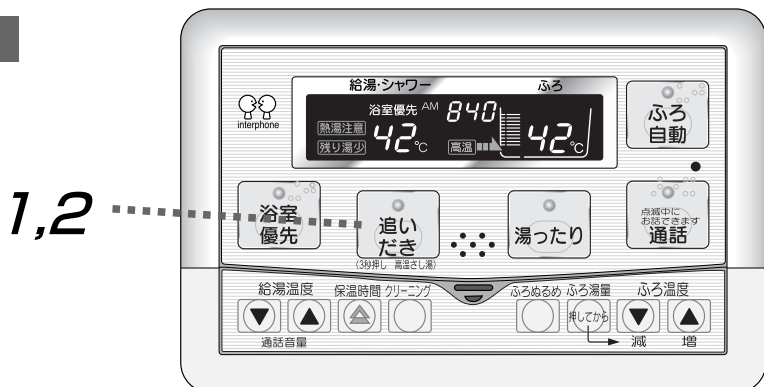
お知らせ

- ふろ予約は、ふろ自動運転が開始すると自動的に解除されますので、その都度予約操作を行ってください。
- ふろ予約中に **ふろ自動** **追いだし** **湯ったり** **ふろぬるめ** **クリーニング** のいずれかを押しと、予約は解除されます。
- ふろ予約で湯はり中に、台所やシャワーなどから湯を使用されると、予約時刻より遅れて沸上げ報知する場合があります。
- 浴槽の残り湯の温度が低いとき、タンク内の貯湯量の少ないとき、タンク内の湯温が低いとき、予約時刻より遅れて沸上げ報知する場合があります。
- 現在時刻を設定しないと、予約スイッチを受け付けません。現在時刻を設定してください。

浴槽の湯温をあげる（追いだき）

- 浴槽温度を約2℃上げるように追いだきします。
- 設定されている湯温よりぬるい場合は、ふろ設定温度+約1℃になるよう追いだきします。
- 前日の残り湯は、沸上げしないでください。

浴室リモコン

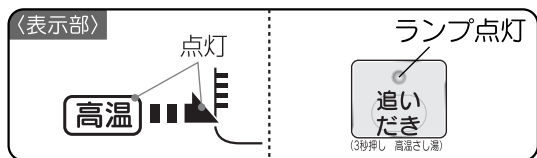


警告

- 入浴するときは、浴槽循環口（アダプタ）から離れる。
- 浴槽にお湯がない場合は、追いだきスイッチを押さない。やけどをすることがあります。

1. 追いだきを押します。

- 表示部およびランプの点灯とともに、追いだきが行われます。



お知らせ

- 追いだき運転は、以下のように動作します。
 - ①浴槽温度を約2℃上げるように追いだきします。
 - ②設定されている湯温よりぬるい場合は、ふろ設定温度+約1℃になるように追いだきします。
- ふろ配管が冷めているときは、追いだき開始後しばらくの間は冷めた水がでます。
- 追いだき運転は、次の動作中は使用できません。
 - ・ふろ自動運転の沸上げ報知前
- 追いだきに要する時間は、貯湯量、貯湯温度により長くなる場合があります。

- 「残り湯少」表示が点灯したら、追いだき運転は受け付けません。台所リモコン（メインリモコン）の強制沸増（3秒押し）湯温表示を押すなどして、貯湯量を確保してから追いだき運転をご使用ください。

貯湯量表示	ふろ自動	湯ったり	追いだき	高温さし湯
残り湯少 点滅	受け付けません	受け付けません	受け付けません	受け付けません
残り湯少 点灯	受け付けません	受け付けます ※2	受け付けません	受け付けません
貯湯 (バー表示が1つ以上点灯)	受け付けます ※1	受け付けます	受け付けます ※3	受け付けます

- ※1 バー表示が1つ以上点灯していても、運転に必要な貯湯量がない場合、受け付けないことがあります。
- ※2 たし湯動作のみ行い、湯ったり沸上げは行いません。
- ※3 浴槽内の残り湯温が低い場合「CO5」を表示して追いだきを停止する事があります。

- 「CO5」を表示して追いだき運転が停止したときは、貯湯量が不足しています。（表示を解除するときはふろ自動を押します。（→46ページ））台所リモコン（メインリモコン）の強制沸増を押して貯湯量を確保してから再度追いだきスイッチを押すか、高温さし湯をしてください。
- 「深夜のみ」運転モードの場合、自動沸増しませんので強制沸増をしてください。

2. 途中でやめるときは、もう一度

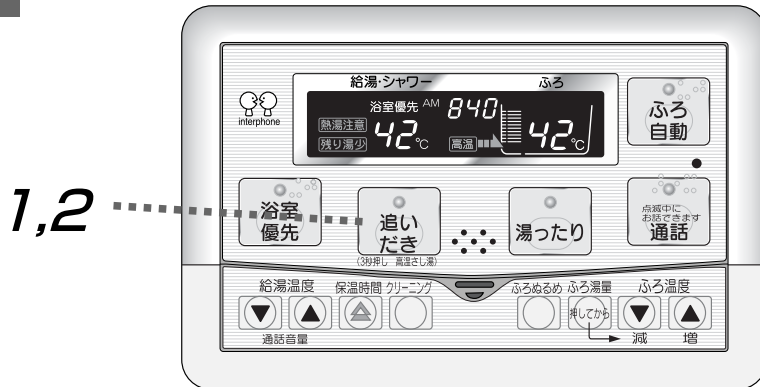
追いだき（3秒押し）を押します。

お風呂の使い方

浴槽の湯温をあげる（高温さし湯）

○浴槽温度を約2℃上げるために必要なお湯（湯温60℃で約20L）が浴槽循環口（アダプタ）から出ます。

浴室リモコン

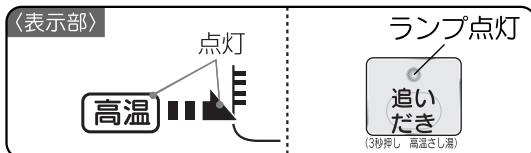


警告

- 高温さし湯をするときは、浴槽循環口（アダプタ）から離れる。
- 浴槽にお湯がない場合は、追いだきのスイッチを押さない。
やけどをすることがあります。

1. **追いだき** (3秒押し 高温さし湯) をピーッと音がするまで3秒間以上押します。

- 表示部およびランプの点灯とともに、高温さし湯が行われます。



お知らせ

- ふろ配管が冷めているときは、高温さし湯開始後しばらくの間は冷めた水がでます。
- 高温さし湯運転は、次の動作中は使用できません。
・ふろ自動運転の沸上げ報知前・追いだき中
- 「残り湯少」表示が点滅したら、高温さし湯運転は受け付けません。台所リモコン（メインリモコン）の **湯温表示** 強制沸増 3秒押し を押すなどして、貯湯量を確保してから、高温さし湯運転をご使用ください。
- 高温さし湯は浴槽に湯を注入するため、浴槽の湯が増え、水位が上昇します。

2. 途中でやめるときは、もう一度



を押します。

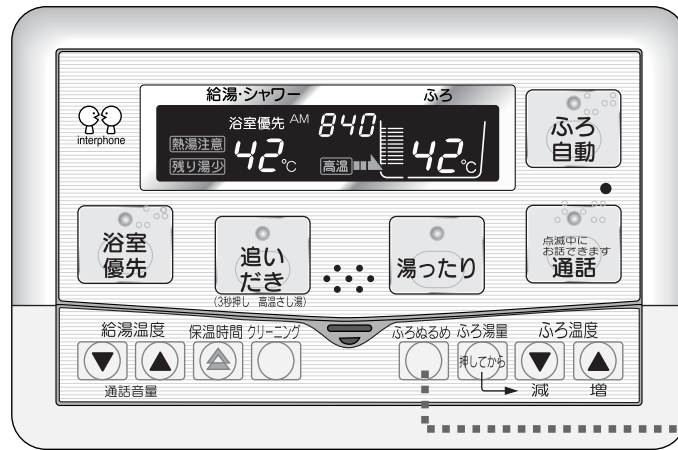
お知らせ

- 電気温水器内の湯温が60℃以下のときは、高温さし湯の温度は60℃以下となります。


浴槽の湯温をさげる (ふろぬるめ)

○浴槽循環口 (アダプタ) から水を約10L注水します。

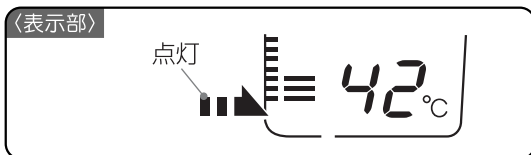
浴室リモコン



1,2

1.  を押します。

●さし水が行われます。



お知らせ

- ふろぬるめ運転は、次の動作中は使用できません。
 - ・ふろ自動運転の沸上げ報知前

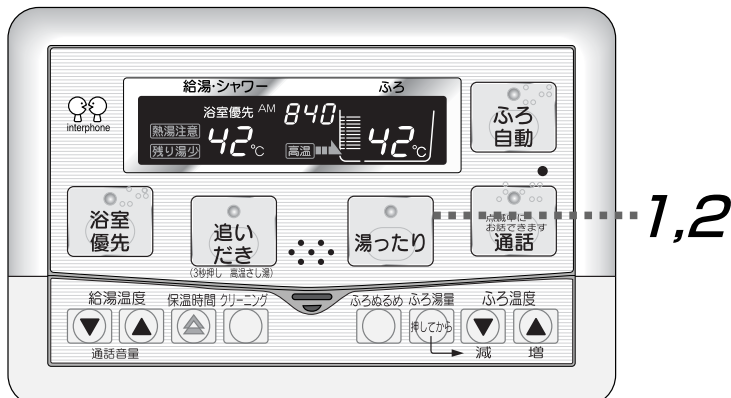
2. 途中でやめるときは、もう一度

 を押します。

浴槽のお湯をふやす（湯ったり）

○ふろ自動運転の保温中に「湯ったり」スイッチが押されると、浴槽循環口（アダプタ）からふろ設定温度+約2℃のお湯を約20L注湯（たし湯）し、その後浴槽温度を約1℃上げるように追いだき（湯ったり沸上げ）します。

浴室リモコン

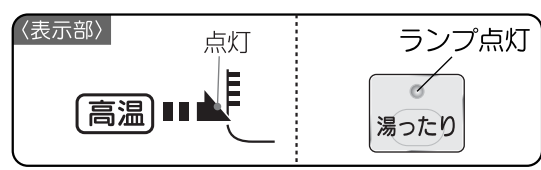


警告


●湯ったり沸上げをするときは浴槽循環口（アダプタ）から離れる。やけどをすることがあります。




1. を押します。

●表示部およびランプの点灯とともに、たし湯が行われます。



お知らせ

- ふろ配管が冷めているときは、湯ったり開始後しばらくの間は冷めた水がでることがあります。
- 「残り湯少」表示が点滅したら、湯ったり運転は受け付けません。台所リモコン（メインリモコン）の  を押すなどして、貯湯量を確保してから、湯ったり運転をご使用ください。
- ふろ自動運転の保温中以外で湯ったりスイッチを押した場合は、ふろ設定温度+約2℃のお湯を約20L注湯し、湯ったり沸上げは行いません。
- 湯ったり運転は次の動作中使用できません。
 - ・ふろ自動運転の沸上げ報知前
- 「CO5」を表示して湯ったり沸上げが停止したときは、貯湯量が不足しています。表示を解除するときはふろ自動を押します。
- 台所リモコン（メインリモコン）の強制沸増しを押して貯湯量を確保してから、再度湯ったりスイッチを押すか、高温さし湯運転をしてください。

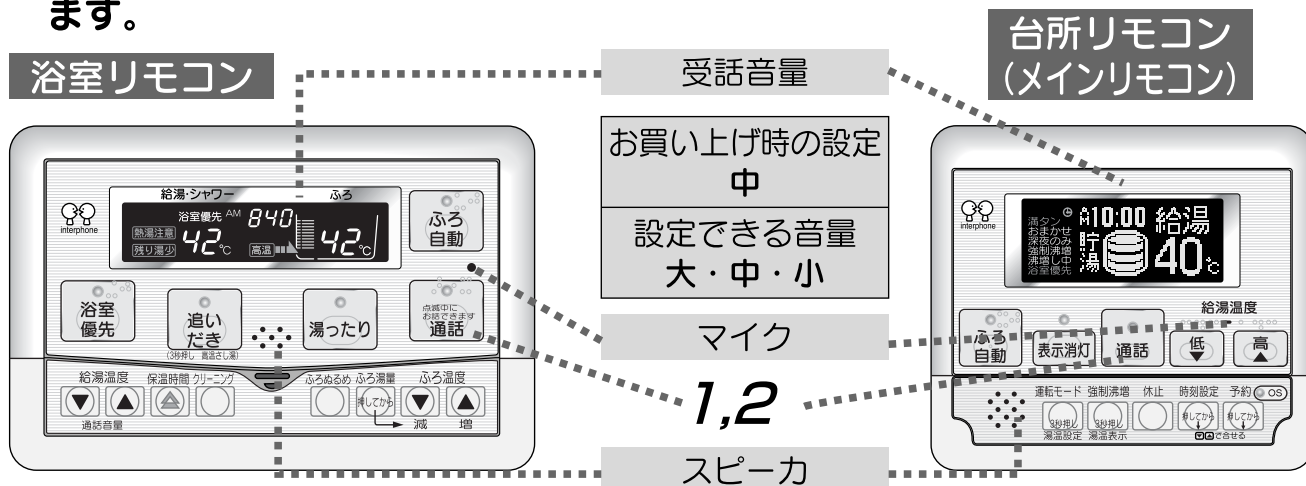
貯湯量表示	ふろ自動	湯ったり	追いだき	高温さし湯
	受け付けません	受け付けません	受け付けません	受け付けません
	受け付けません	受け付けます ※2	受け付けません	
	受け付けます ※1	受け付けます	受け付けます ※3	受け付けます

2. 途中でやめるときは、もう一度

 を押します。

浴室と台所で通話する

○浴室リモコンと台所リモコン（メインリモコン）の間で通話することができます。また、受話音量を変えることができます。通話は、通話スイッチを押して切り替えます。



1. を押します。

- ピッピッピッピッ、ピッピッピッピッと
呼出音が鳴ったあとに、相手に話す
ことができます。

お知らせ

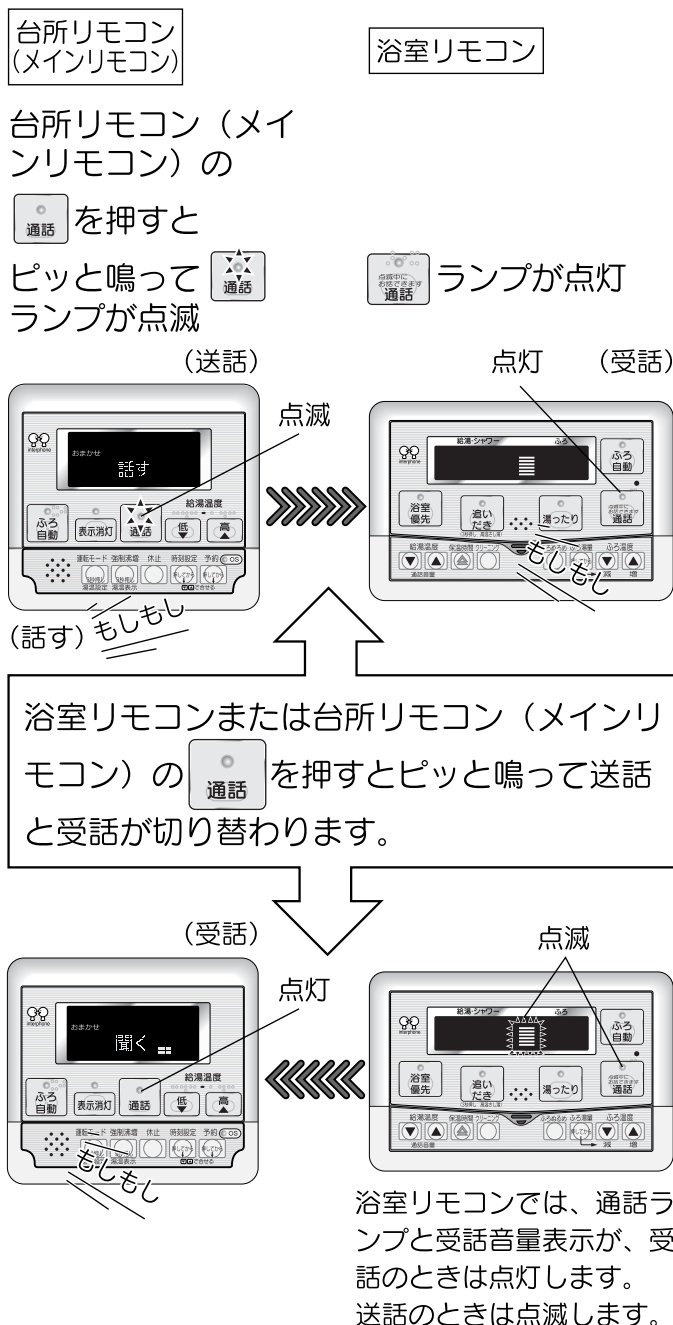
- を押して通話を始めた最初のみ、設定した
時間内（10秒・20秒・30秒）に を押
さないと送話と受話が切り替わります。
- 通話時間を0秒に設定すると、呼出音のみと
なり通話ではできません。
- 通話時間の設定はオプション設定で変更する
ことができます。（→35ページ）

2. を押すごとに、送話と受話が 切り替わります。

お知らせ

- 最長4分間通話することができます。ただし
 を押さないと設定した時間（10秒・20
秒・30秒）で通話が終了します。
（→35ページ）
- リモコンから30cm程度離れて通話をしてく
ださい。

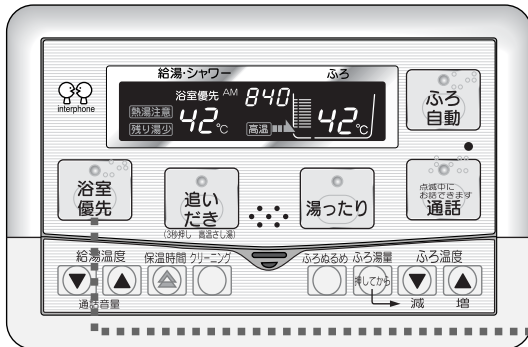
送話と受話の切り替え



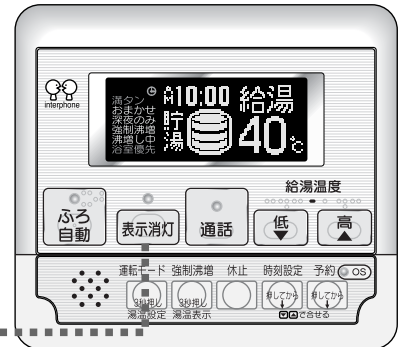
おまの使い方

浴室と台所で通話する

浴室リモコン



台所リモコン (メインリモコン)



3

3. 通話を終了します。

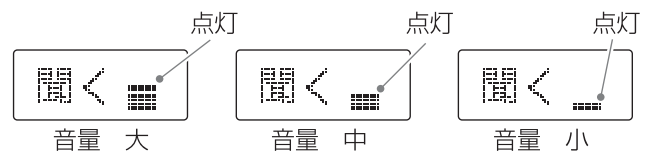
- 台所リモコン (メインリモコン) は **表示消灯** を押します。通話ランプは消灯します。
- 浴室リモコンは **浴室優先** を押します。通話ランプは消灯します。

受話音量の変更

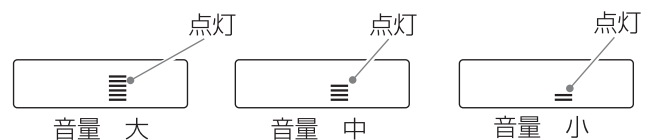
受話の時に以下の操作で、受話音量を変えることができます。

- 台所リモコン (メインリモコン) は **給湯温度** の **低** / **高** を押します。
- 浴室リモコンは **給湯温度** の **低** / **高** を押します。
- 受話音量は3段階で変えることができます。

台所リモコン (メインリモコン)



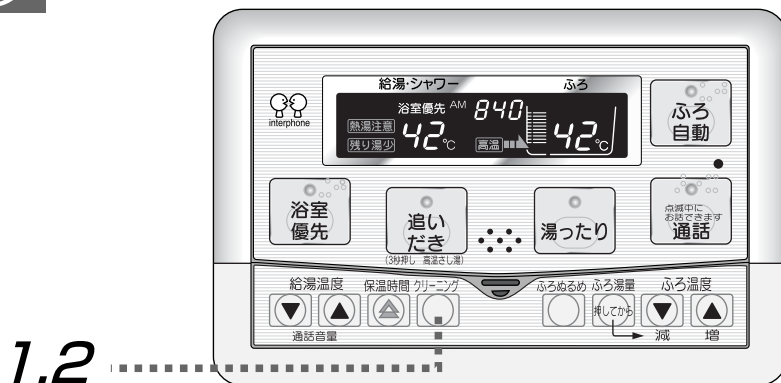
浴室リモコン



ふろ配管の洗浄（クリーニング）

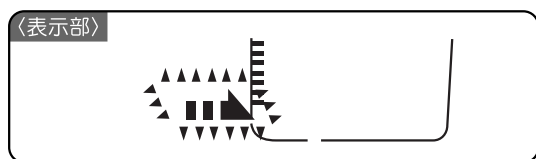
- ふろ配管にたまった水をきれいな水で排水します。
- 快適にご使用いただくために、排水後毎回行うことをおすすめします。
（浴槽循環口（アダプタ）から、浴槽内に排水されます。）

浴室リモコン



1. を押します。

- 表示部が点滅するとともに、約20Lの水で配管洗浄を行います。



お知らせ

- クリーニング運転は、次の動作中は使用できません。
 - ・ 追いだき中
 - ・ 湯ったり中
 - ・ ふろぬるめ中
 - ・ ふろ自動中
 - ・ 高温さし湯中

2. 途中でやめるときは、もう一度 を押します。

5 オプション設定

オプション設定

○故障時の連絡先の電話番号登録やリモコンの音量、明るさなどの設定ができます。

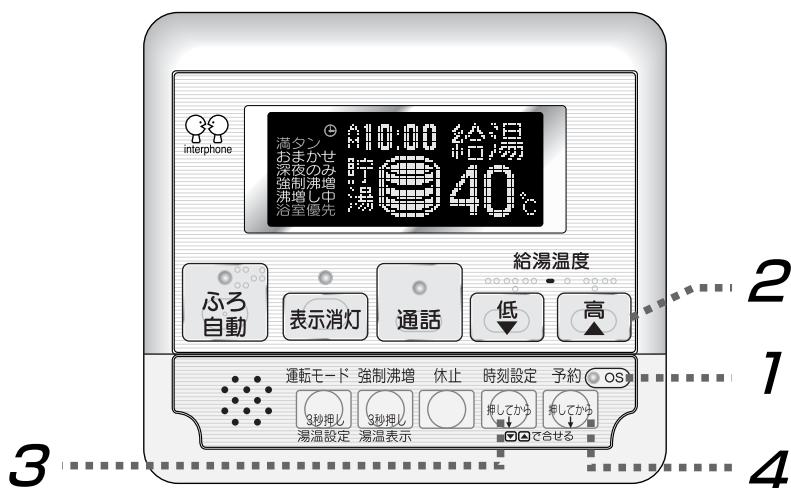
○オプション設定の種類

NO.	表示	内容	お買い上げ時の設定	設定できる範囲	ページ
1	TEL登録	故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録します	—	（電話番号入力）	32
2	メイン音量	台所リモコン（メインリモコン）の音量を設定します	中	無・小・中・大	33
3	リモコン操作音	リモコン操作音の有／無を設定します	有り	有り・無し	34
4	メイン輝度量	台所リモコン（メインリモコン）表示部の輝度量を設定します	明	暗・明	34
5	浴室輝度量	浴室リモコン表示部の輝度量を設定します	明	暗・明	35
6	通話時間	台所リモコン（メインリモコン）と浴室リモコン間で通話できる時間を設定します。	10 (秒)	0・10・20・30 (秒)	35
7	循環ポンプ	ふろ配管凍結予防運転の有／無を設定します。	有り	有り・無し	33

オプション設定（電話番号登録）

○故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録することができます。

台所リモコン
(メインリモコン)

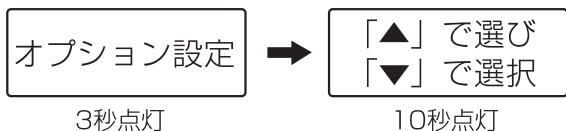


故障時連絡先（サービス店）登録

1. **OS** を押します。

お願い

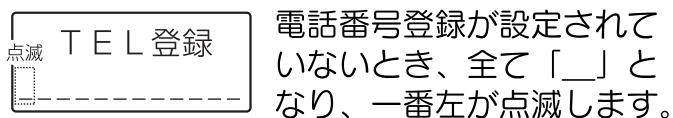
- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。



お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

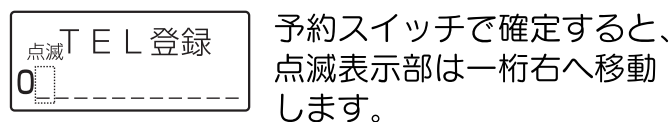
2. オプション設定モード中に **高** を押し、「TEL登録」を選択します。



3. **時刻設定** を押し、番号を選択します。



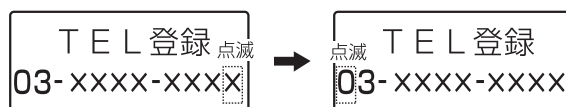
4. **予約** を押し、確定します。



5. 3、4の手順を繰り返し、電話番号を設定します。右端が点滅のとき

予約 を押すと先頭に戻ります。

(例) 電話番号 03-XXXX-XXXX のとき



お知らせ

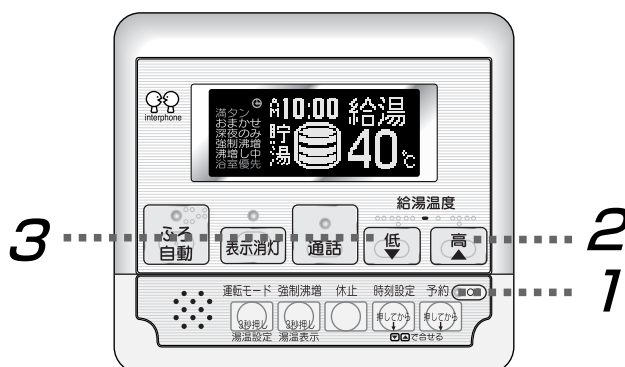
- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。
- **高** を押すと、次の設定項目に移行します。

オプション

オプション設定（台所リモコン（メインリモコン）音量）

○台所リモコン（メインリモコン）の音声ガイド音量を設定します。

台所リモコン （メインリモコン）



台所リモコン（メインリモコン）音量設定

1. **OS** を押します。

お願い

- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定

3秒点灯



「▲」で選び
「▼」で選択

10秒点灯

お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に **高** を押し、「メイン音量」を選択します。

メイン音量

無小中**大**

点滅

お買い上げ時は「中」が点滅します。

3. **低** を押し、点滅部を切り替えます。

メイン音量

無小中**大**

点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

お知らせ

- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。
- **高** を押すと、次の設定項目に移行します。

ふろ配管凍結予防運転 有/無設定

1. **OS** を押します。

お願い

- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定

3秒点灯



「▲」で選び
「▼」で選択

10秒点灯

お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に **高** を押し、「循環ポンプ」を選択します。

循環ポンプ

有り 無し

点滅

お買い上げ時は「有り」が点滅します。

3. **低** を押し、点滅部を切り替えます。

循環ポンプ

有り **無し**

点滅

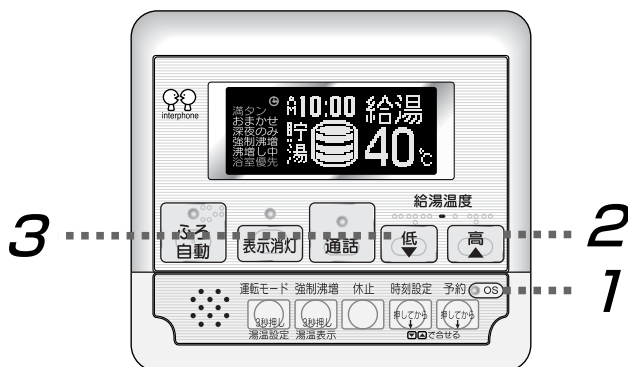
低 を押すたびに、設定が切り替わります。

オプション設定（リモコン操作音・台所リモコン（メインリモコン）輝度量）

○リモコン操作時の音の有／無を設定します。

○台所リモコン（メインリモコン）の表示部の輝度量（明／暗）を設定します。

台所リモコン （メインリモコン）

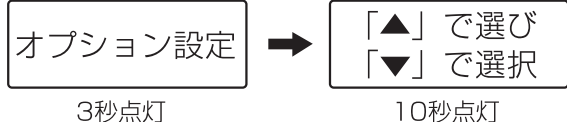


リモコン操作音 有／無設定

1. **OS** を押します。

お願い

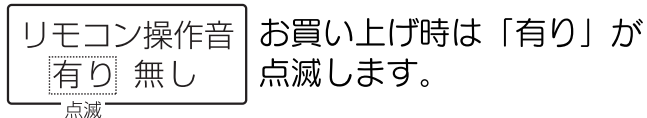
- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。



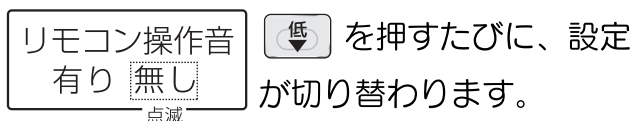
お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に **高** を押し、「リモコン操作音」を選択します。



3. **低** を押し、点滅部を切り替えます。



お知らせ

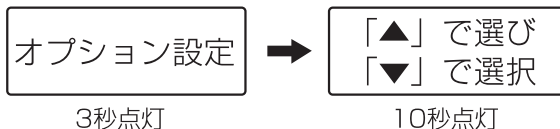
- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。
- **高** を押すと、次の設定項目に移行します。

台所リモコン（メインリモコン）輝度量設定

1. **OS** を押します。

お願い

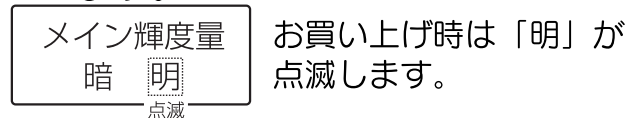
- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。



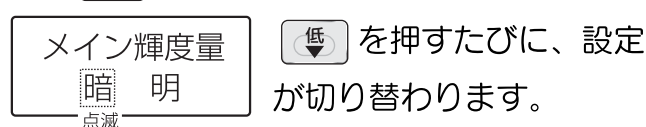
お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に **高** を押し、「メイン輝度量」を選択します。



3. **低** を押し、点滅部を切り替えます。



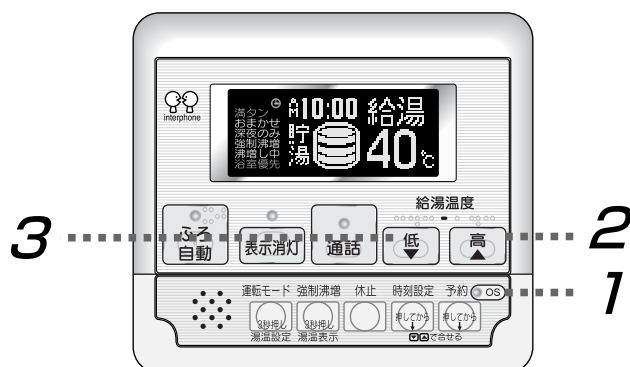
オプション
設定

オプション設定（浴室リモコン輝度量・通話時間）

○浴室リモコンの表示部の輝度量（明／暗）を設定します。

○台所リモコン（メインリモコン）と浴室リモコン間で通話できる時間を設定します。

台所リモコン
（メインリモコン）



浴室リモコン輝度量設定

1. **OS** を押します。

お願い

●ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

●次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定

3秒点灯



「▲」で選び
「▼」で選択

10秒点灯

お知らせ

●10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に **高** を押し、「浴室輝度量」を選択します。

浴室輝度量

暗 明
点滅

お買い上げ時は「明」が点滅します。

3. **低** を押し、点滅部を切り替えます。

浴室輝度量

暗 明
点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

お知らせ

●スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。

● **高** を押すと、次の設定項目に移行します。

通話時間設定

1. **OS** を押します。

お願い

●ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

●次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定

3秒点灯



「▲」で選び
「▼」で選択

10秒点灯

お知らせ

●10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に **高** を押し、「通話時間」を選択します。

通話時間

0 10 20 30
点滅

お買い上げ時は「10」が点滅します。

3. **低** を押し、点滅部を切り替えます。

通話時間

0 10 20 30
点滅

低 を押すたびに、設定が切り替わります。

お知らせ

●「0」に設定すると、呼出音のみになります。

6 このようなときは

湯切れしそうなき（強制沸増）

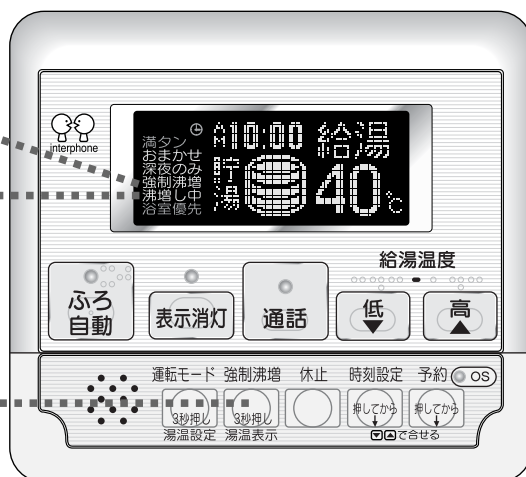
○湯切れしそうなきは（目安として残湯量少表示が点灯したとき）、強制沸増を使用して電気温水器のお湯を沸増してください。（強制沸増は「時間帯別電灯」でご契約のお客様は24時間利用できますが、「深夜電力」でご契約のお客様は夜間時間帯のみ利用できます。）

台所リモコン (メインリモコン)

強制沸増表示

沸増し中表示

1,2



1. を押します。

- 強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、沸上げます。
- 150L【115L】まで沸上げたら、沸増は終了します。（貯湯量表示がバー1本になった直後に強制沸増を押したときは、150L【115L】まで完全に沸上がらないことがあります。）

2. 途中でやめるときは、もう一度 を押します。

お知らせ

- 強制沸増を押したとき、1回のみ沸上げを行います。
- 強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。
- 昼間時間帯で強制沸増を使用すると、電気料金は割高になります。
- 強制沸増は150L【115L】沸上げるか、4時間経過すると、自動的に終了します。

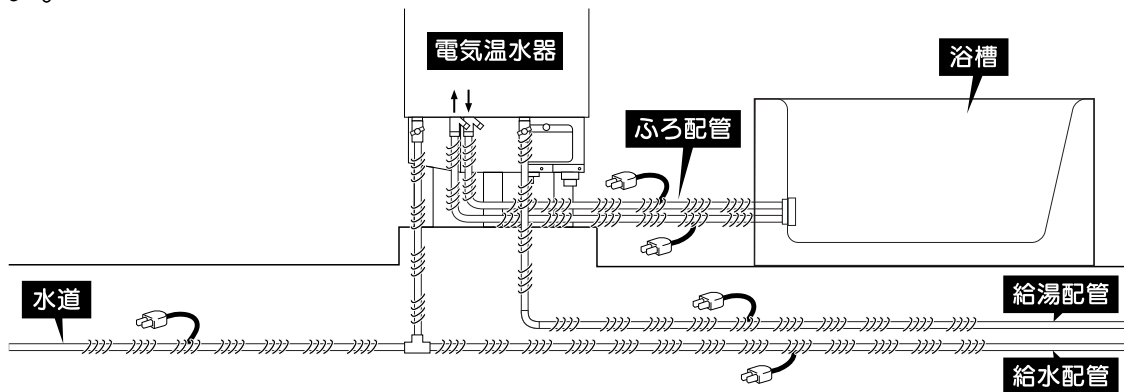
【 】内は、370Lタイプ

冬期の凍結予防について

- 冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管、ふろ配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
- 販売店または据付工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

凍結防止ヒータ（配管の凍結予防）

- 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。



⚠ 注意

●配管の凍結防止対策を確認する。

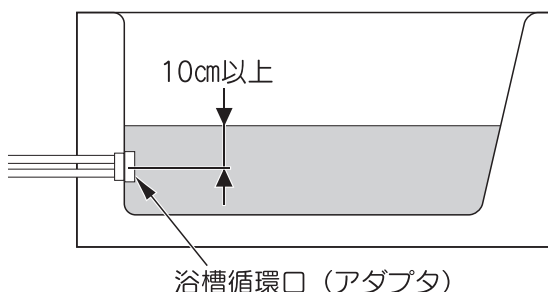
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

お願い

- 配管が凍結した場合は、専用止水栓（給水用）を閉じて、販売店または据付工事店へご連絡ください。

浴槽の残り湯循環（ふろ配管の凍結防止）

- 凍結しそうな気温になると、循環ポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防します。



1. 入浴後、浴槽のお湯を排水せず残しておく。
 - 浴槽循環口（アダプタ）中心より10cm以上の水位としてください。
2. ふろ配管が約4℃以下になると、自動的に循環ポンプを運転し、ふろ配管に残り湯を循環させます。

⚠ 注意

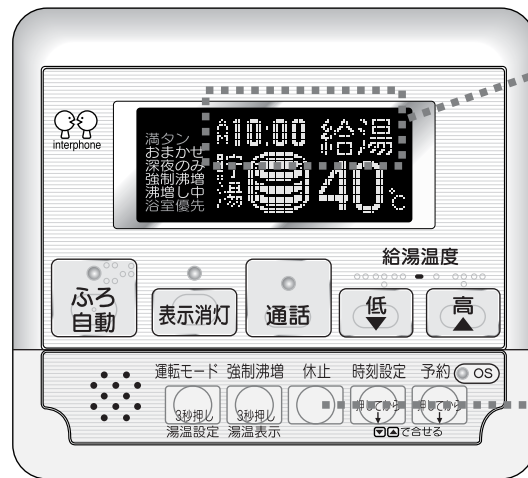
●電源を「OFF」にしない。

冬期は凍結して機器が破損することがありますので電源を「OFF」にしないでください。循環ポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防しますので、入浴後は浴槽のお湯を排水せずに残しておいてください。

数日間お湯を使用しないとき

○旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸上げを停止させることができます。

台所リモコン
(メインリモコン)



使用再開日数表示

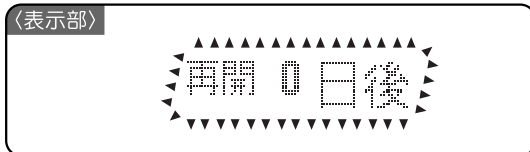
お買い上げ時の設定
0日(なし)

設定できる範囲
0日~15日(1日刻み)

1,2,4

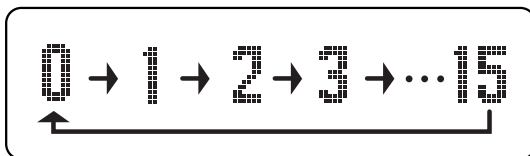
1. を押します。

- 時刻表示から、使用再開日数表示に変わり、数字が点滅します。



2. を押し、期間を設定します。

- 押すごとに1日ずつ期間が長くなります。



3. そのまま5秒経過すると設定完了です。

- 表示は点滅から点灯に変わります。

(設定例1)

12月1日に出発し、12月5日に帰宅する4泊5日の旅行の場合。(1日は入浴せず、5日は入浴する。)

4 泊 5 日

出発日(12月1日)に使用再開日数を「4」日後に設定

(設定例2)

使用再開日数を「1」日後に設定した場合、設定したときから午後11時(夜間時間帯開始時刻)までの沸上げが停止します。

4. 休止中を停止する場合

を押します。

お知らせ

- 電源を「OFF」にしないでください。凍結のおそれがある気温になると、電気温水器内は凍結防止ヒータで凍結を予防します。
- 1箇月以上の休止期間の場合は、次ページの操作を行ってください。

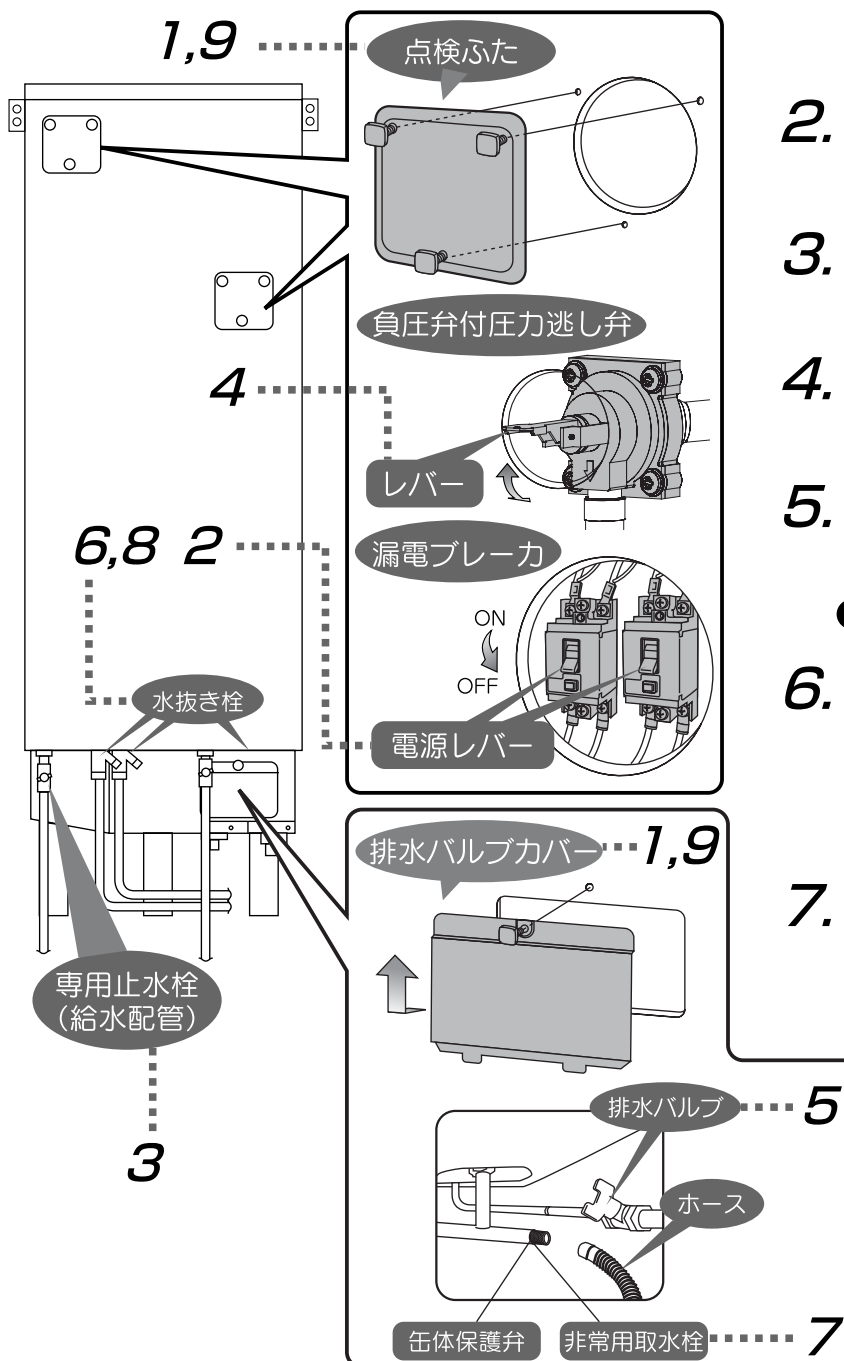
長期間お湯を使用しないとき

- 1箇月以上ご使用されないときは、運転を止め電気温水器の水を抜きます。
- 排水をするときは、やけどなどの防止のため、電気温水器のお湯を使いきって（水の状態にして）から行ってください。
- 凍結する恐れのある地域でご使用の場合は、販売店（工事店）に連絡し機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

⚠注意

- 1箇月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして電気温水器の排水をする。排水しないと水質が変化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

電気温水器



1. 電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを取りはずします。
2. 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。
3. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
4. 電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげます。
5. 電気温水器の排水バルブ（1箇所）を開きます。
●水が抜けるまでに約30分かかります。
6. 電気温水器の水抜き栓（3箇所）を開きます。配管の途中に水抜き栓が設けられているときは、これも開きます。
7. 排水口に差し込まれているホースの先端をはずし外に引出して、非常用取水栓も開きます。

非常用取水栓
のつまみ

閉じる

開く

8. 排水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、ホースの先端を元にもどし、すべての水抜き栓と缶体保護弁を元どおり閉じます。
9. 負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげて電気温水器の排水バルブカバーと点検ふた（2箇所）を元どおり取り付けます。

△ 警告

- 排水時はお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

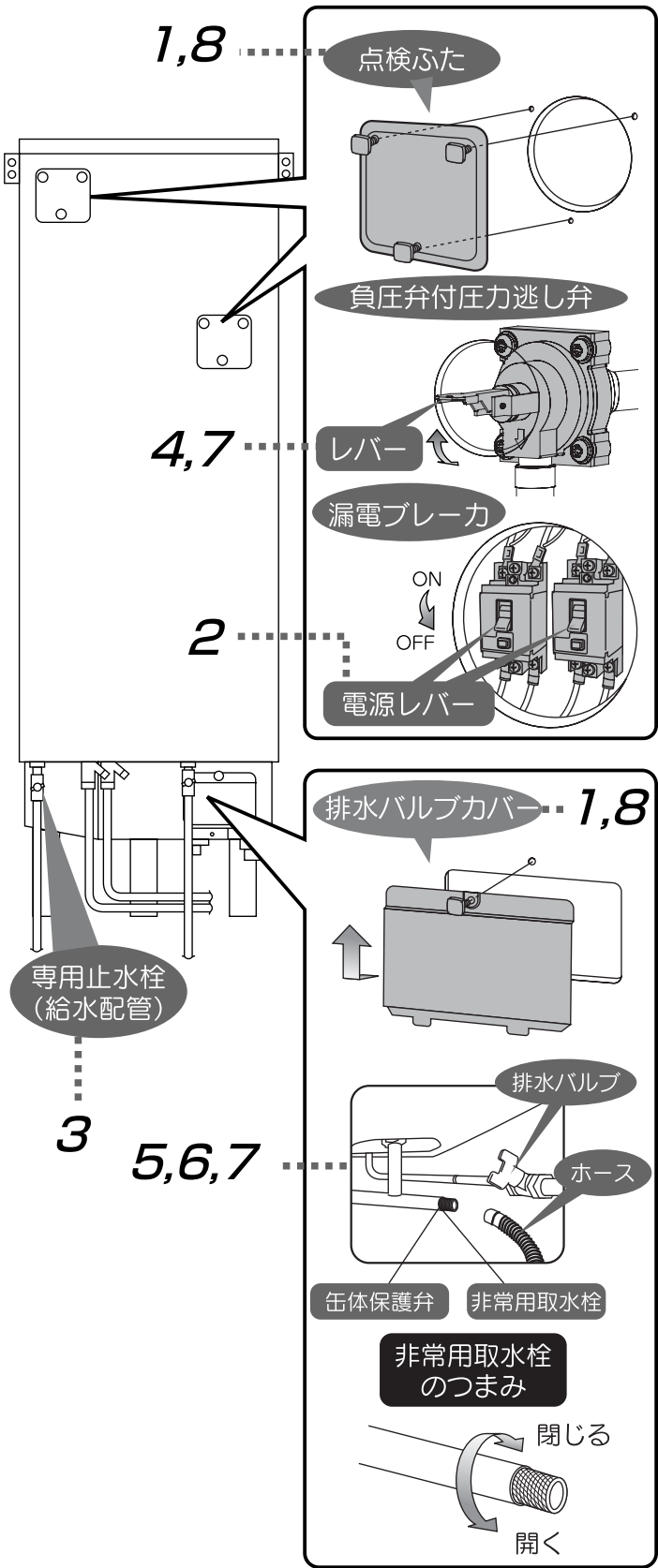
お願い

- 再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→10ページ）の手順の準備作業を行ってください。
- 水抜き作業後に負圧弁付圧力逃し弁のレバーがさがっていること、排水バルブ、水抜き栓、非常用取水栓が閉じていることを確認してください。

非常用取水栓の使い方

○万一の地震などの災害時は、電気温水器内のお湯（水）を生活用水として利用できます。

電気温水器



準備するもの
容器（ポリタンク、バケツなど）

警告

- 取水時はお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。やけどをすることがあります。

注意

- そのまま飲用に用いない。
長期間のご使用により、電気温水器内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

1. 電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを取りはずします。
2. 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。
3. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
4. 電気温水器の负压弁付圧力逃し弁のレバーをあげます。
5. 排水口に差し込まれているホースの先端をはずし、外に引出します。
6. 非常用取水栓を開き、容器に受けます。
7. 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、ホースの先端を元にもどし负压弁付圧力逃し弁のレバーを下げます。
8. 排水バルブカバーと点検ふた（2箇所）を元どおり取り付けます。

お願い

●再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→10ページ）の手順の準備作業を行ってください。

停電したときや断水・水道工事が行われるとき

停電が10分以上続いたとき

ふろ自動運転

- 停電が10分以上続くと、ランプが消灯しふろ自動運転停止となります。

停電終了後、を押してください。

停電により時刻が止まってしまったとき

- 停電が4時間以上継続した場合は、時刻表示が「-:-」を点滅してお知らせします。
(短時間の停電であればメモリ機能により保存されますので、以下の操作は必要ありません。)

再設定が必要な機能

- 次の機能はお買い上げ時の設定に戻りますので、ご使用の状態に合わせて再設定してください。

再設定が必要な機能	説明ページ
時刻合わせ	→11ページ
運転モードの設定	→12ページ
沸上げ温度の設定	→14ページ
表示消灯	→15ページ
給湯温度の設定と優先リモコン	→16ページ
湯はり量とふろ温度の設定	→17ページ
ふろ自動運転継続時間の設定	→21ページ
ふろ予約	→22ページ
オプション設定	→31ページ

お知らせ

- 「時間帯別電灯」でご契約のお客様は時刻合わせをしないと沸上げできません。

作動が停止または解除される機能

- 次の機能は作動が停止または解除されますので、もう一度操作してください。

作動が停止または解除される状態	説明ページ
ふろ自動	→18ページ
ふろ予約	→22ページ
追いだき	→24ページ
高温さし湯	→25ページ
ふろぬるめ	→26ページ
湯ったり	→27ページ
インターホン	→28ページ
クリーニング	→30ページ
強制沸増	→36ページ
休止	→38ページ

お願い

- 浴槽の湯がさめてしまった場合は、浴槽内の湯を全部排水してから、ふろ自動をやり直してください。

断水や近くで水道工事が行われるとき

- 工事が行われる前に専用止水栓（給水配管）を閉じてください。
- 工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、専用止水栓（給水配管）を開いて使用を再開してください。

お知らせ

- 濁った水が逆止弁のストレーナを目詰まりさせ、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

お願い

- 断水している時はお湯を使用しないでください。お湯を使用されるとエラーコードを表示する場合があります。

定期点検（有料）

○電気温水器を長くお使いいただくために、3～4年に一度定期点検（有料）を行ってください。

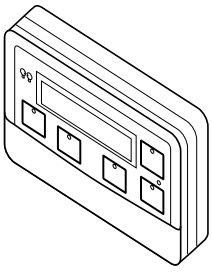
定期点検の主な内容

○定期点検については、販売店、工事店または株式会社コロナへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

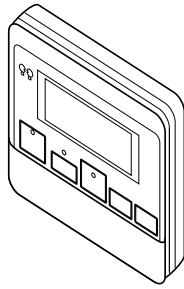
項目	内容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（負圧弁付圧力逃し弁、減圧弁）などの点検、および消耗部品の交換。
清掃	電気温水器内の清掃。（沈殿物の除去など）

●給水器具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて、4～6年に1回程度の点検（有料）をおすすめします。

リモコンのお手入れ（日常）



浴室リモコン



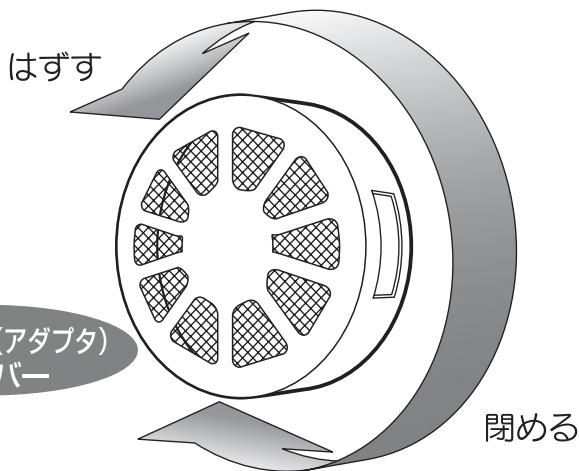
台所リモコン
(メインリモコン)

- リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

お願い

- リモコン内部には電気部品が入っていますので、故意に水をかけないようにしてください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

浴槽循環口（アダプタ）のお手入れ（1週間に1回）



浴槽循環口（アダプタ）
のカバー

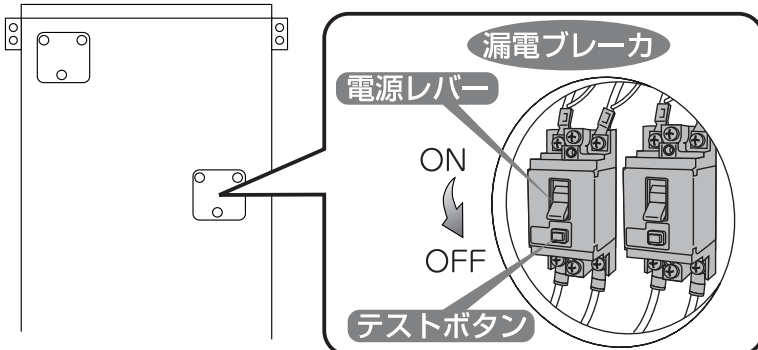
- 浴槽循環口（アダプタ）のカバーは、取りはずして歯ブラシなどで汚れを落としてください。

お願い

- 取り付けがゆるいと、運転中にはずれ故障の原因になります。確実に元どおりに取り付けてください。

漏電ブレーカの動作点検（年に2～3回）

電気温水器



- 200V電源供給中に、電気温水器の漏電ブレーカのテストボタンを押してください。

お知らせ

- 電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。
- 点検終了後は、電源レバーを「ON」に戻してください。

警告

●漏電ブレーカの動作を確認する。

故障のまま使用すると、感電することがあります。

●ぬれた手で電源レバーを操作しない。レバー以外には手を触れない。

感電のおそれがあります。

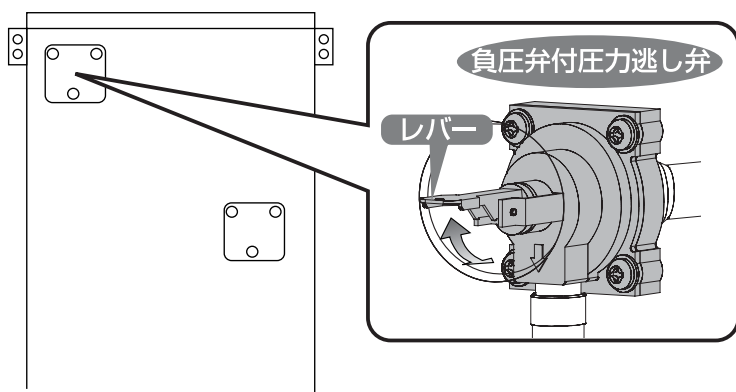
負圧弁付圧力逃し弁の点検（年に2～3回）

- 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にしてから点検してください。

⚠警告

- 負圧弁付圧力逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

電気温水器



- 電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーを2～3回上下に動かしてください。

お知らせ

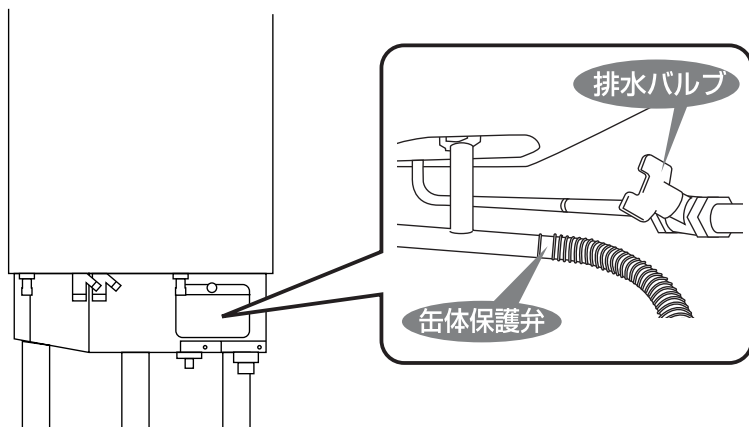
- あげたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。
- 点検終了後は、負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげてください。

⚠注意

- 負圧弁付圧力逃し弁の点検をする。
- 電気温水器の点検ふたは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

電気温水器のお手入れ1（年に2～3回）

電気温水器



- 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にしてから点検してください。
- 電気温水器の、排水バルブ（1箇所）を開き、電気温水器内の水を排水します。
- 1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水バルブ（1箇所）を閉じてください。

⚠警告

- 排水時にはお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

電気温水器のお手入れ2（年に1回）

- 「長期間お湯を使用しないとき」の手順で、機器内の水をすべて排水してください。（→39ページ）
- 排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返してください。
- 清掃完了後「はじめてご使用になるとき」の手順の準備作業を行ってください。（→10ページ）

故障かなと思ったとき

こんな時は故障ではありません

○排水口からお湯が出ている。

沸上げ運転時は、電気温水器内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が負圧弁付圧力逃し弁から排水されます。

○気温が低いとき、浴槽循環口（アダプタ）からポンプの運転音がする。

凍結予防のため、浴槽の残り湯を循環ポンプで循環させます。（→37ページ）
（浴槽に残り湯が無いときは、ふろ配管内の湯を浴槽に排出してポンプが止まる。）

○リモコンの時刻表示が「-：-」で点滅する。

停電が原因です。時刻合わせをしてください。（→11ページ）

お知らせ表示（故障ではありません）

○動作の異常を検知したときふろ自動ランプが点滅し、リモコンに次のように表示しピピピピッと鳴ってお知らせします。その場合は、次の処置をしてください。（台所リモコン（メインリモコン）は5秒ごとに表示が切り替ります。）



表示	原因	処置
CO1	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽の排水栓を開けたまま、ふろ自動運転をしたとき 浴槽循環口（アダプタ）が湯アカ等でつまったとき 浴槽循環口（アダプタ）からふろ配管に空気が入る（ふろ自動運転中） 	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽の排水栓を閉じてください。 浴槽循環口（アダプタ）のカバーを掃除してください。 ふろ自動運転中は、浴槽循環口（アダプタ）が出るまで湯を汲み出さないでください。
CO3	<ul style="list-style-type: none"> 電気温水器内の貯湯量が少ないのに、ふろ自動運転をしたとき 	<ul style="list-style-type: none"> 強制沸増を行って貯湯量を確保してから行ってください。（→36ページ）
CO5	<ul style="list-style-type: none"> 追いだきができないとき 	<ul style="list-style-type: none"> 強制沸増を行って貯湯量を確保してから追いだきを使用するか、高温さし湯してください。
CO9	<ul style="list-style-type: none"> 深夜時間帯に2時間以上の停電があり、沸上らなかったとき 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ強制沸増を行って貯湯量を確保してください。

●お知らせ表示の解除をする場合は



スイッチを押します。

故障かなと思ったとき

エラー表示



○機器に異常が発生したときリモコンに次のように表示し、ピピピピッと鳴って異常をお知らせします。（台所リモコン（メインリモコン）は5秒ごとに表示が切り替わります。）



お知らせ

- 「エラー***TEL***」や「エラー***修理必要」と表示されたときは、機器は停止しています。
- 「代替運転中」と表示されたときは、機器は作動しています。（一部機能が使えない場合があります。）

表示	原因	処置
E02~E42	電気温水器関係の故障	エラー表示を解除して、再度運転を開始してください。再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
E37	別売品の漏水センサ作動	電気温水器の専用止水栓（給水配管）を閉じ、お買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

- E28を表示してふる自動運転ができない時、断水の場合があります。給水が復旧してからエラーをリセットし、再度ふる自動運転をしてください。
- エラー表示を解除する場合は、浴室リモコン   を同時に5秒以上押してください。
または、台所リモコン（メインリモコン）の「運転モード」と「時刻設定」を同時に5秒以上押してください。

故障かなと思ったとき（表示がない場合）

○次の項目にしたがって処置をしても、なお異常がある場合はお買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

症状	原因	処置
リモコンの表示部が点灯しない（電源が入らない）	・200Vブレーカが「OFF」になっている。	ブレーカを「ON」にしてください。
	・漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている。	ブレーカを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、そのままお買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終るまでまってください。
リモコンの表示が消えている	・表示が自動消灯モードになっている。	どれかスイッチを押すと表示が点灯します。常時点灯させるには、表示消灯スイッチを押します。（→15ページ）
リモコンの表示が暗い	・リモコンの輝度設定が「暗」になっている。	リモコンの輝度量を「明」にしてください。（→34、35ページ）
音声案内をしない 音声案内が小さい	・リモコン音量が「無し」や「小」になっている。	リモコン音量を「中」「大」などに設定してください。（→33ページ）
リモコンの操作音が出ない	・リモコン操作音の設定が「無し」になっている。	リモコン操作音設定を「有り」にしてください。（→34ページ）
ふる自動を受け付けない	・貯湯量表示が消え「残り湯少」が点灯または点滅している。	強制沸増を行って、貯湯量を確保してから行ってください。（→36ページ）

故障かなと思ったとき（表示がない場合）

症状	原因	処置
お湯が出ない お湯の出が悪い	・給水止水栓が閉じている	給水止水栓を開いてください。
	・断水している/給水圧が低い	水道局へ問い合わせてください。
	・電気温水器内のストレーナにゴミが詰まっている	お買い上げの販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。
	・配管が凍結している	お買い上げの販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯がぬるい お湯が足りない	・時計表示が点滅している	時刻設定をしてください。(→11ページ)
	・台所リモコン(メインリモコン)に「再開○日後」が表示している	休止スイッチを押し、沸上げ停止を取消してください。(→38ページ)
	・沸上げ温度設定が低い	沸上げ温度が「低」、「自動」の場合は「高」にしてください。(→14ページ)
	・沸上げ運転時以外でも、排水口からお湯(水)がでている	負圧弁付圧力逃し弁の点検をしてください。(→45ページ) 止まらない場合は、お買い上げの販売店(工事店)に点検・修理をご依頼ください。
	・いつもに比べてお湯をたくさん使用した	強制沸増を行ってください。(→36ページ)
浴槽のお湯があつい	・ふろ温度の設定が高い	ふろ温度の設定を低くしてください。(→17ページ) またはふろぬるめを使用してください。(→26ページ)
	・追いだき中	追いだきを中止してください。(→24ページ)
浴槽のお湯がぬるい	・ふろ温度の設定が低い	ふろ温度の設定を高くしてください。(→17ページ) または追いだきを使用してください。(→24ページ)
浴槽のお湯が少ない	・湯はり量の設定が少ない	湯はり量の設定を多くしてください。(→17ページ) または湯ったりをしてください。(→27ページ)
浴槽のお湯が多い	・湯はり量の設定が多い	湯はり量の設定を少なくしてください。(→17ページ) または排水してください。
	・浴槽に残り湯がある状態で湯はりをした	残り湯を排水してから湯はりをするようにしてください。
追いだきができない	・貯湯量表示が消え、「残り湯少」が点滅または点灯している	強制沸増を行って、貯湯量を確保してから使用するか高温さし湯をしてください。(→36、25ページ)
	・ふろ自動運転の沸上げ報知前	沸上げ動作が完了してから使用してください。
給湯温度が変更できない	・リモコンに優先権がない	浴室リモコンの浴室優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。(→16ページ)
貯湯量表示の減り方が早い	・外泊などで1日以上お湯を使用していない	貯えられたお湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。

事業者様へのご案内

○『労働安全衛生法施行令』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法施行令』（以下安衛法）が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の『100kPa以下』から『200kPa以下』へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

安衛法の規定において、従来の電気温水器は『簡易ボイラー』に区分されますが、高圧力型電気温水器は『小型ボイラー』に区分されます。

簡易ボイラー：安衛法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期自主検査の義務もありません。

小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積40kW以下・水頭圧100kPa超え200kPa以下の給湯器です。安衛法が適用になり、一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期自主検査の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。
※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

(1) 設置報告

(事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。)

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要がありますので事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図^{*1}及び小型ボイラー明細書^{*1}並びに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面^{*2}を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1 同梱されている明細書・構造図を使用して設置届けを行なってください。

※2 事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

1.事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書(様式第26号)に機械等 検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書(同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。)並びに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

事業者様へのご案内

○『労働安全衛生法施行令』改正について

(2) 定期自主検査

(事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。)

事業者様は、小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本 体	・製品本体からの漏れの有無 ・負圧弁付圧力逃し弁の動作状態および漏れの有無 ・漏電遮断器の動作状況 ・タンクの手入れ
配 管	・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の(43~45ページ)「定期点検、お手入れと日常点検」を参照してください。なお、自主検査を行なった後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

- 1.事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期的に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りではない。
 - (1) 小型ボイラーにあつては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無。
 - (2) 小型圧力容器にあつては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は摩耗の有無。
- 2.事業者は、前項ただし書の小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号に掲げる事項について自主検査を行わなければならない。
- 3.事業者は、前2項の自主検査を行なったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

(3) 特別教育

(事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。)

事業者様へのご案内

○『労働安全衛生法施行令』改正について

事業者様は小型温水ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の科目

- ①ボイラーの構造に関する知識
- ②ボイラーの付属品に関する知識
- ③関係法令
- ④小型ボイラーの運転及び保守
- ⑤小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお、特別教育の科目の全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明を行なってください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

- 1.事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のための特別の教育を行なわなければならない。
- 2.前項の特別の教育は、次の科目について行なうものとする。
 - 1 ボイラーの構造に関する知識
 - 2 ボイラーの付属品に関する知識
 - 3 燃料及び燃焼に関する知識
 - 4 関係法令
 - 5 小型ボイラーの運転及び保守
 - 6 小型ボイラーの点検
- 3.安衛則第37条及び38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。

(4) 事故報告

(高圧力型電気温水器の事故等が発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。)

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故等が発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

■適用法令→労働安全衛生規則第96条

- 1.事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。
(1～2略)
- 3.小型ボイラー、令第1条第5号の第一種圧力容器及び同条7号の第二種圧力容器の破裂の事故が発生したとき (以下略)

仕様

型 式 名			AUF-37M7UK AUF-37M7UK-N	AUF-46M7UK AUF-46M7UK-N
ボイラー区分			小型温水ボイラー	
適用電力制度			時間帯別電灯/深夜電力（8時間通電制御）	
設置場所			屋内外用	
タンク容量			370リットル	460リットル
定格電圧	時間帯別電灯契約時		単相200V	
	深夜電力契約時		単相200V+単相200V（制御用）	
定格消費電力	電気ヒータ(発熱体)	上部	4.4kW	5.4kW
		下部	4.4kW	5.4kW
	制 御 用		13W（リモコン消灯時：7W）	
	凍結防止ヒータ		約72W（ON：5℃・OFF：13℃）	
	風 呂 保 温		80W/50Hz、105W/60Hz（循環ポンプ）	
電気温水器	外形寸法(高さ×幅×奥行)		1900mm×630mm×730mm	1890mm×720mm×800mm
	質量(製品質量/満水時質量)		約77kg/約447kg	約108kg/約568kg
	最大使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）	
	安 全 装 置		自動温度調節器、温度過昇防止器、漏電ブレーカ、過圧防止弁、フロースイッチ、からだき電極	
	配 管 口 径		給水口、給湯口→R3/4(おねじ)、風呂循環口→R1/2(おねじ)、排水口→φ40mm	
沸上げ温度			約75℃～約90℃	
給湯温度			35℃～50℃（1℃刻み）/60℃	
湯はり温度			35℃～48℃（1℃刻み）	
貯湯機能			おまかせ・満タン・深夜のみ	
風呂給湯機能			自動湯はり、自動保温、自動たし湯、湯ったり、ふろぬるめ、追いだき、高温さし湯	

- 故障、修理については、お買い求めの販売店、工事店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。当社又は、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障及び損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

据付工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

- 保証書は電気温水器に添付されています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
- 保証期間はお買いあげいただいた日から2年間です。
ただしタンク内部のヒーターは3年間、タンクは5年間です。
- 次のような原因による故障及び、事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）
 - 誤った使用方法による故障や事故。
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水をご使用になったことに起因する不具合。
 - 凍結による故障・破損。

修理を依頼されるとき

- 本書の「故障かなと思ったとき」（46～48ページ参照）にしたがって調べてもよくならないときは、お買い求めの販売店、又は、☎ 0120-917-567（365日24時間受付）の窓口にご連絡ください。
 - 保証期間中であれば、保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは…

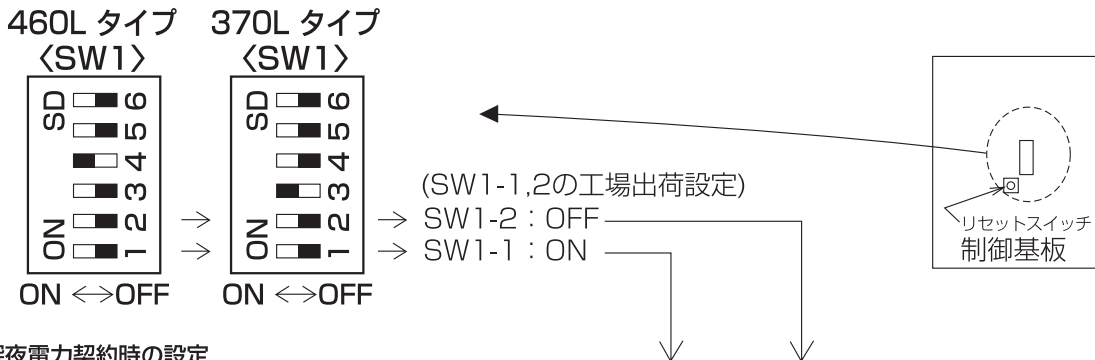
- お買い求めの販売店にご相談ください。
 - 修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料修理いたします。

時間帯別電灯契約/深夜電力契約の設定

- 電力契約には、時間帯別電灯契約と深夜電力契約（8時間）があります。
- 時間帯別電灯契約の中でも電力会社によっていろいろなプランがあります。
各プランに合わせた設定を行ってください。
- 設定は制御基板内中央の切替えスイッチ（SW1）のNo.1、2にて行います。
この設定により各プランに合わせた沸上げ制御を行います。

切替えスイッチの設定変更後は制御基板に通電した状態で制御基板上的のリセットスイッチを必ず押してください。

※No.3～6は、機種により設定が違います。工場出荷設定のまま変更しないでください。



●深夜電力契約時の設定

電力会社	名 称	設 定		備 考
		SW1-1	SW1-2	
全電力会社	深夜電力契約	ON	OFF	工場出荷設定のまま

●時間帯別電灯

電力会社	名 称	設 定		備 考
		SW1-1	SW1-2	
北海道電力	ドリーム8	Aパターン	OFF	ON
		Bパターン	OFF	OFF
		Cパターン	ON	ON
東北電力	やりくりナイト8	OFF	OFF	
	やりくりナイト10	ON	ON	
	やりくりナイトS	ON	ON	
東京電力	おトクなナイト8	OFF	OFF	
	おトクなナイト10	ON	ON	
	電化上手	OFF	OFF	
中部電力	タイムプラン	OFF	OFF	
	Eライフプラン	OFF	OFF	
	わくわくホット	OFF	OFF	
北陸電力	エルフナイト8	OFF	OFF	
	エルフナイト10	ON	ON	
	エルフナイト10プラス	ON	ON	
関西電力	はびeタイム	OFF	OFF	
中国電力	エコノミーナイト	ON	ON	
	ファミリータイム (プランI)	ON	ON	
	ファミリータイム (プランII)	ON	ON	
四国電力	得トクナイト	OFF	OFF	
	電化Deナイト	OFF	OFF	
九州電力	よかナイト10	ON	ON	
	電化deナイト	ON	ON	
沖縄電力	Eeらいふ	OFF	OFF	

株式会社 **コト+**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7 TEL(0256) 32-2111 (大代表)

●アフターサービスなどのお問い合わせは  **0120-917-567 (365日24時間受付け)**